三版
（年中無休刊）　（明治三十九年九月一日第三種郵便物認可）　（日曜日）　THE KEIJO NIPPO　大正六年八月五日（一）

京城日報

四二三號　夕刊
發行所　京城大和町一丁目　合資會社　京城日報社

◎馮大總統就任
黎氏固辭の結果　各省に就任通電

馮國璋氏は一旦黎元洪氏に復職を求めたるも黎氏辭退したるを以て已むなく正式に大總統に就任の旨を各省に通電したり猶ほ近々外交團の訪問を受けたる後ち正式に各國公使を訪問して就任の挨拶をなすべし（北京特電）

◎黎氏天津行見合せ

馮國璋氏大統就任の上直ちに天津へ退く筈なりし黎元洪氏は某方面の有力なる勸告により時局を平穩ならしむる爲め暫く天津行を見合すべしと（北京特電）

◎在支獨人引揚準備

對獨宣戰案官行期切迫したるを以て德華銀行は營業を停止し獨逸紙幣の兌換を停止せり在北京の獨墺人は退京の已むなきを覺悟し其の用意に取懸れり（北京特電）

◎英軍攻勢開始目的

英軍の猛烈なる大攻勢は北海の獨逸潜航艇根據地を脅威せんとする目的に出でたるものと解せらる（倫敦電報）

◎米國單獨非講和加入

米國も聯合國間の單獨非講和條約に加入したり（紐育電）

◎總督東京發期

長谷川總督は八日東京發赴任の豫定なり（東京特電）

◎石井特使待遇

石井大使一行の通過に際しホノルヽより國賓に準ずると共に米國々賓の待遇を受くべし（ホノルヽ特電）

□大總統に就任せる馮國璋氏

北京特電は馮國璋氏の大總統就任を報ず馮氏の茲に至れるは既定の事を今日實行し實現したるに過ぎざる也抑も張動の復辟騷動突如として北京に現はれ黎元洪氏が漸く身を以て外公使館に遁入せんとするや大總統令を以て段祺瑞氏を國務總理に馮氏をして大總統たらしむべき命を發せり而して復辟騷擾は張動の失脚と共に段氏の勝利に歸するや段氏は頻りに馮氏を招き馮氏は京を發し北京に入り先づ黎元洪氏と會して其の復職を勸めしも黎氏の遂に聽かざるを以て茲に正式に大總統に就任する事となれり之れ馮氏選任の經緯を正面より見たるに止まるも其の裏面よりせんが政治的紆餘曲折の歩みにもとより盡きざるものある也

馮氏は直隷河間縣の産、號を華甫と呼び別に馮河間とも稱す家は河間の大姓にして世々儒者たり兄弟四人氏は其の末弟に當る年少最も史書を好み故李鴻章氏の武備學堂を天津に起すや赴いて學び李經芳氏の日本に使するや氏亦從ひて日本の軍事を視察する處あり日清の役には衞汝貴に從ひ滿洲にあり又た清朝舊軍の用るに足らざるを見や故袁世凱氏の旨を受けて兵を小站に練り新建陸軍を號す而して段祺瑞、王士珍等と共に袁氏の幕僚として名稍々高く殊に氏は陸軍の改革に志し制度を獨逸に執りんとし先づ小站に獨支陸軍學校の創立を建議し容れられて自ら其の校務を主持す後李氏の山東に督たるや氏も常に之に從へり雲南の唐繼堯陝西の陳樹藩何れも氏が直隷に在りて陸軍諸學校を設立せし際其の教を受けたるの人也北清事變後清朝練兵處を北京に設け慶親王は督辦とし袁氏及び鐵良を以て之に副とせしが氏は當時練兵處軍學司正使に任せらる清廷又た貴冑學堂を設くるや氏は監督たり次で練兵處の陸軍部となるや其の一部を軍諮處となせり氏は同處の正使たり辛亥八月武昌に事の起るや氏は時に灤州に在りて秋季大演習を計畫中なりしが直に北京に歸り第二軍を組織し又第一軍總司令を命ぜられ湖北に赴き軍を督し漢陽を攻落す彼の有名なる漢口燒打は此の際の事なり後更らに直隷都督に任ぜられ第二革命の時は第二軍に長たりしが南京既に陷りたれば氏は江蘇の都督となり宣武上將軍となる袁氏帝制の際の如きは氏は之に反對したる一人なり

◎辭令傳達式

四日午前八時三十分より總督府總督室に於て左記諸氏に對して辭令傳達式を舉行し總督代理山縣政務總監より夫れ〳〵辭令を傳達したり

總督府官房總務局長	荻田悅造
同　鐵道局長	人見次郎
同　同　技師	新田留次郎
同　同	岩崎眞雄
同　醫理課長	和田駿
同　同　技師	永田光之助
同　事務官	澤齡修
同　同	中村寬猛
同　部內務部勤務	南宮營

◎土地調査減員

土地調査局にては事務の進捗に伴ひ七月三十一日附にて書記技手五十八名の免官を發表したり

◎朝鮮大阪貿易

七月下旬に於ける朝鮮大阪貿易は輸移出四十四萬一千圓輸移入九十六萬八千圓にて合計一百四十一萬圓なるが出入勘定は五十二萬七千圓の入超となり居れり尚ほ金銀貿易は出超百六十九萬二千圓を算し結局百十萬圓の出超なり

◎陸軍大異動發表期

陸軍大異動期は十日發表の說あれど聞知する所によれば二十日公表の事に決定し居れりと

◎持地遞信長官

持地遞信局長官は四日午前六時四十分聯絡船發畝丸にて釜山通過東上したり（釜山特電）

◎越野嘉助氏逝去

山口銀行監事越野嘉助氏は病氣中の所二日夜大阪東區淡路町邸にて逝去したり（大阪特電）

◎埼玉視察團著釜

埼玉縣教育視察團一行二十九名四日朝著の聯絡船高麗丸にて來釜、市中見物の上東萊に赴き四日午後十一時發京城に向ふ（釜山特電）

◎吳船渠大擴張
世界一の船渠とならん

帝國海軍工廠擴張と共に吳造船所船渠を擴張し僅に四萬噸級の巨船を入渠せしめ得ることゝなるべく實に世界第一の大船渠となるべしと（大阪特電）

◎總督送迎辭退

東上中なる長谷川總督不日歸任すべきは本紙既報の通りなるが其の際は炎暑の候にもあり旁陸軍の儀式並に沿道に於ける官民の送迎等は一切辭退する旨總督副官より其の筋に通牒ありたり

◎ヒ理事訪總

米國桑港市俄古取引所理事ヒツケル氏は米國食料品監督局長の命を受け露國に於ける現在の食物狀態及び戰後の農業經濟問題に就き視察研究の爲め露國に赴く途次過般內地より入京目下朝鮮ホテルに滯在中なるが同氏は四日總督府に小原農商工部長官及び中村技師を訪問し朝鮮に於ける食料品並に農業經濟狀態に就き調査する所あり氏は尚ほ兩三日間滯在の筈なり

前八時三十分南大門驛發列車にて南下せしが同日は湖南線を群山に下り一泊同夜同方面の有力者を招待讌宴すべく又五日は事務を視察しつゝ木浦に赴き同じく披露宴を張り七日朝釜山に出で同夜釜山に張宴八日大邱にて披露宴を行ひ九日夜歸京の豫定なるも長谷川總督歸任の都合により其の歸期は或は若干遲延すべしとの事なり尚ほ今日元山に赴けるやう報ずる者あるは誤まりにて京元線は南方巡視後視察の豫定となり居れり

◎小出博士入京

東北大學教授醫學博士小出房吉氏は三日朝入京總督府病院に滯在中なるが五日午前九時三十分南大門驛發金剛山に向ひ更に京城に引返して滿洲に赴く豫定なりと

◎內田夫人消息

內田駐露大使夫人は三日夜露都より歸著、領事館に一泊の上四日歸朝の途に就けり（長春特電）▲內田駐露大使令閨まさ子夫人一行は三日夜京城通過の筈なりしも途中の都合上五日午前八時南大門驛著同三十分發列車にて南下の事と變更されし旨其筋へ入電あり尚ほ一行は令嬢及び矢野二等書記官並に從者二名にて其の歸朝用向は嚴父長逝のため並に近時露都は危險なるため之を避くるにあるものゝ如し

◎立花中將動かず

立花第十九師團長は北鮮巡視の歸期を早めたるため陸軍大異動に伴ひ其の轉任を見るべしとの說を作すのあるが確聞する所によれば立花將軍は第十九師團長として新師團の創成中に係り未だ師團は完備の域に達し居らざる事並に新師團の事情に精通せる立花將軍の如き朝鮮の完成には人を必要とする關係上今日其の離任は事實あり得べからざる事にて全く他の在京將官異動のためなりと

◎立花中將歸期

北鮮地方巡視中の第十九師團長立花中將は十九日歸任の豫定を早めて八日歸任することゝなりたるは既報の如くなるが其後倚任歸任を早むる事情出來したれば又復此の旅程を變更して六日夜歸羅することゝなりたり

◎廣瀨部長出張中止

軍司令部經理部長廣瀨主計監は八月初旬より約十日間の豫定にて北鮮地方に出張する豫定なりとは既報の如くなるが其後部合により之を中止し無期延期となりたりと

◎理事長等出發

滿鐵理事長國澤新兵衞氏は隨員久保總務課長上田秘書役並に京城管理局の三本稻垣伊藤三高級社員を隨へ線路並に經營狀況視察のため四日午

◎東都短信
東京支局　一記者

▼陸軍定期異動は既に詮衡略ぼ決定、八月上旬を以て其發表を見んとす。傳うるところによれば、大谷青島守備軍司令官、松川衞戍總督は共に軍事參議官に轉補せられ、由比第十五師團長近衞師團長に、明石第六師團長、衞戍總督となり、仁田原近衞師團長、靑島守備軍司令官に、河合陸軍大學校長第一師團長に、鷗田中將參謀本部を出で、第五師團長に、町田參謀本部第二部長第十一師團長に、近衞步兵第一旅團長久邇宮殿下は中將に御陞任第十五師團長に、步兵第一旅團長梨本宮殿下は亦た中將に御陞任第十六師團長に、轉補せられ、山口第十六師團長、蠣崎第十一師團長、小原第五師團長、安藤第十三師團長は待命仰せつけらる可く而して秋山朝鮮駐剳軍司令官は軍事參議官に轉じ第一師團長本鄕中將其後を襲ふ可しといふ。但し、所謂傳ふるものゝ傳ふるところ、自ら讀者の玩味心讀を請はずんばあらず。

▼後藤內相統裁の下に拓殖調査委員會成る。由來拓殖調査のことは先進殖民諸國に於ては夙に研鑽經營するところ也。佛國に於ては殖民地商業會議所及び殖民地關係協會の選出せる兩院議員、殖民地巴里駐在官及び殖民大臣の任命した學識經驗ある人士より組織されて法律案及行政上の案件を調查審議し獨逸に於ては學識經驗家及び殖民地關係協會の選出せる者の中より委員廿五名を選任し殖民大臣の諮詢に應じ、英國に於ては印度事務大臣の任命したる十名乃至十五名の議員より成り其半數は少くも十年間印度に居住したる事あるものとし殖民地の收支、交際、文官任用令、及び附產の一般事務につき審議し、白耳義に於ては國王の任命せるもの八名、元老院の選擧せるもの三名、代議員の選擧せるもの三名の委員に於て勅令案其他國王の諮詢案件を審議調査す。▼而して、今、我が後藤委員長以下拓殖調查委員會委員十八名の人選に見て、我が國の夫れの自ら特異の樣式を保ち特殊の期待ある看取す可き乎。（八月一日午後四時）

◎移民應募好況

東洋拓殖會社にて募集中の第八回移民應募狀況を聞くに七月末申込現計は下の關出張所を經て本社に來着せしもの四百七十七戶本社直接申込み者二百三十六戶合計七百十三戶にして此の外下の關出張所員の手にある二百戶內外を算する見込みの由にて之れを昨年同期の二百四十四戶に比すれば非常の增加となり九月末の締切までには募集定數を超過すべし尙ほ右の內第二種の地主移民は目下の應募五十五戶にて募集定數五十戶を三十五戶超過し居れり

◎綿布市況思惑
銀行筋の警戒

綿絲及び綿布は支那に於ける原料拂底其他の爲め一時天井知らずの狀勢にありしが昨今に至り綿絲の如き支那各地とも賣行捗々しからざる爲め却て本邦へ逆輸入を見るが如き狀態にて一時さしもに暴騰を重ねたる市價も一寸行詰への姿となりたるが方朝鮮に於ても猶ほ騰貴の頂點に達せし時に於ても猶ほ混亂を續けゐたる二三有力の鮮商あり是等に對しては相手が相手丈けに銀行も安心して貸出過ぎたる觀あるが今日に至り前記の鮮商も思惑外れの氣味にて手持品を持餘し居り之れを速かに捌かんとするも買手なきに案倦み居るため猶ほ思惑心強き同業者を物色して甲より乙に乙より丙に轉々して多少の損を顧みず融通し居れる狀態なるを以て勢ひ是等の思惑をなせる鮮商は尠なからざる創痍を被り居れりといふ左れば此際銀行業者も夙に警戒し出せし傾向ありと某實業家は語れり

◎埼玉視察團旅程

埼玉縣教育會の主催せる滿鮮及び支那に於ける教育視察團一行二十九名は四日朝入港の關釜連絡船高麗丸にて來釜直ちに釜山、草梁、釜山鎭を視察し午後十一時發列車にて京城に赴き夫れより仁川、平壤を經て奉天に至り南北支那各地を視察し二十三日上海より歸縣の筈（釜山）

◎賓黑鐵道督辦

我が滿蒙五線鐵道に對抗して昨年三月露支間に契約され今春測量を了へて起工の時機を待ちつゝある哈爾賓より黑河根に至る本線及び黑河愛琿等を經て黑河に至る支線の所謂北滿鐵道督辦は該契約成立の當時黑龍江省督軍たりし畢桂芳兼任し居りしも同督軍は許師長の爲め放逐され北京に歸還したるを以て今回前工區總辦たりし范其光氏をして暫時督辦代理に任命したるが交通部內には該督辦の地位を希望する者少なからず殊に任鳳運氏は熱心に運動し居れる模樣なり（北京）

◎華富銀行改善

馮麟閣氏失脚の爲め目下休業中の華富銀行は愈々其組織を改造して近く營業を再開する事となれり元來同行は資本百萬元と稱するも其拂込は僅に三十五萬元にして此內二十二萬元は馮麟閣氏が同行の創立運動に際し北京に於て消費し盡し又十餘萬元は創業諸費として散失したれば餘す所絕無なるに拘らず猶ほ二百餘萬元の紙幣を發行して市中に流通する者百十餘萬元に達し居れば張督軍は同行の整理案として財政廳長及び商務總會長監督の下に省城六銀行より五十萬元を出資せしめ該行を馮氏の手より離して協同經營する事に議定し已に右全部の提出を終りたりと（奉天）

◎鮮銀借款返濟

昨年奉天省財政廳が朝鮮銀行より借入れたる一百萬圓の借款は已に期限到達せるが財政廳は利息共之を返還したり（奉天）

◎教員講習閉會式

京畿道主催にて客月二十一日より南大門小學校に於て開會中なりし小學校教員講習會は愈々四日終了し同日午前十時講習修業證書の授與式を舉行せり一同著席するや松永京畿道長官は講習員及び修業證書を授與し夫より同長官の一場の訓辭に亞いで講習員總代の答辭ありて式は終了を告げたるが關屋學務局長金谷府尹等も列席せり

◎鮮銀決算發表期

朝鮮銀行にては來る六日各株主に對して定期株主總會の通告を發すると同時に本年前半期の營業成蹟並に配當率を發表すべしと

◎苹果委託販賣

今回平壤苹果業市場にては西鮮地方の需要に充つる爲め苹果の委託販賣を廣く引受くることゝなせしが口錢は一割にて希望者は平壤壽町果菜市場に照會すべしと

◎大田

▲苗圃の旱害甚大　大田地方に於ける旱害中最も甚しきものは苗木類なるが忠淸南道廳の直營に係る圖苗中著しき旱害あるは栗、赤ハンノ木苗にして赤松、クヌギ等に比し敷的枯死甚しく且つ亦民營にかゝるものゝ內には落葉松、クヌギ等の枯死するもの漸く多く往々にして桑苗の枯死に瀕したるもの尠からず今後十數日も晴天打續くに於ては大田地方の苗木は四割乃至五割方の枯損を見るべしと一般に憂慮しつゝあり▲白米亦々値上　大田白米小賣同業組合にては原料玄米拂底の爲め二日より各等一升に付五厘値上を實行したるが一等米二十五錢二等米二十四錢五厘となれり

◎大邱

▲慶北物產陳列館開館延期　慶北物產陳列館は既報の如く八月一日より開館さるゝ筈なりしも陳列棚並びに陳列品等內部の設備上之れを延期して來る九月一日頃開館すべしと▲大邱銀行新築　從來大邱本町二丁目に於て營業し居れる大邱銀行は業務の發展に伴れ目下の建物にては狹隘を感ずるに至れるを以て今回新たに本町一丁目に平家五十坪附屬建物三十坪の行舍を建築すべく決定せり▲小學校同窓會　大邱上町在郷軍人集會所に於ては五日は大邱公立尋常高等小學校女子部同窓會を十二日は同男子部同窓會を何れも午前九時より開催する筈なるが當日は有益なる談話並に餘興等の催しある由なり

◎群山

▲港灣實地踏查　群山港灣調査會にては同會事業の第一著歩として先づ同港灣の實查を爲すことの必要なるを認め五日午前九時三十分より會員大舉して瀨戶山氏所有發動機船の曳船團平船に便乘し港內を巡航し群山港灣水路に精通せる瀨戶山德藏氏より實地的詳細なる說明あるべしと▲商議埋築完成　群山商業會議所經營に係る西濱埋築工事は此程全く竣工を告げ去月二十七日附埋築竣成の屆出を了し埋築地利用法に付ては近く商議員會を開き凝議すべしと

人事消息

▲ツエルガン氏（帝大教授米人）　三日午後入京朝鮮ホテルへ
▲大原庄太郎氏（釜山水產組合長）　四日午前入京浦尾へ
▲田中久太郎氏（鎭海要塞）　三日夜入京天眞樓へ
▲矢野久三郎氏（釜山稅關長）　四日退京歸任
▲牧猛氏（參謀本部員步兵少佐）　三日夜平壤に赴き六日來京不如火に投宿の筈
▲笠井眞三氏（小野田セメント技師長）　四日夜退京

銃砲火薬の譲渡許可證を携帯せねば釜山にては一切輸移入を許可せぬ

内地其他朝鮮以外より旅客又は朝鮮在住者が銃砲、猟銃、仕込杖、刀劍類を携帯又は輸移入する場合は從來釜山に於て旅行者在住者の行先を聞糺せる者には直に輸移入許可證を交付し來りたるに

◆近來其手續を變更して總て譲受許可證を添へて願出ざる者に非らざれば一切輸移入を許可せざる方針に改めたる爲め携帯者は非常に不便を感じ居れるのみならず手續の不案内なる爲め何れも處置に窮する[illegible]に關し旅館の[illegible]事情なるが行先に照會して[illegible]從來は携帯者の便利を謀り特別の取扱を爲し來りしに携帯者中には行先住所に虚僞の申立を爲す者多く爲めに携帯者の行先住所に送達せし輸移入通告書は

◆所在不明の理由を以て返送し來る者多く爲めに[illegible]をなす能はざる者多きより止むなく從來の如き便宜の取扱を廢し銃砲火薬類取締規則に準據し其譲渡許可證を行先又は居住地の所轄警察署若くは憲兵隊に示して輸移入の許可を得たるものに非ざれば携帯には輸移入を許可せざることに改めたり之れは殊更らに旅客に不便を與ふるが如き理由にあらず從來斯せねばならざりしなり而して銃砲譲受證は内地にて購入の際

◆所轄警察署に於て下附せられたるものを朝鮮に於ける居住地又は行先の警察署若くは憲兵隊に示して輸入許可證の下附を受け始めて所有者の手にて輸移入することを得ると云ふ順序になるのである、並に參考として大正元年八月公布の制令第三號銃砲火薬類取締規則を示さんに第三條に銃砲、火薬類の輸出入又は移出入は行政官廳の許可を受けたる者に非ざれば之れをなすことを得ず、第四條に銃砲の讓渡又は讓受は行政官廳の許可を受けたる者に非ざれば之れを[illegible]

◆許可を受けざる者に之れを讓渡することを得ず、第十八條に[illegible]……に非ずんば輸移入し能はざるとなれり(釜山)

八百圓

携帯して豪遊　舊惡悉く露顯

去月三十一日慶南東萊温泉蓬萊館に高松市南部西大寺町中村春太郎(三六)と稱して投宿せる紳士風の男あり以來海雲臺及び釜山にて豪遊を爲す舉動不審なるより東萊警察署にては種々探偵の結果

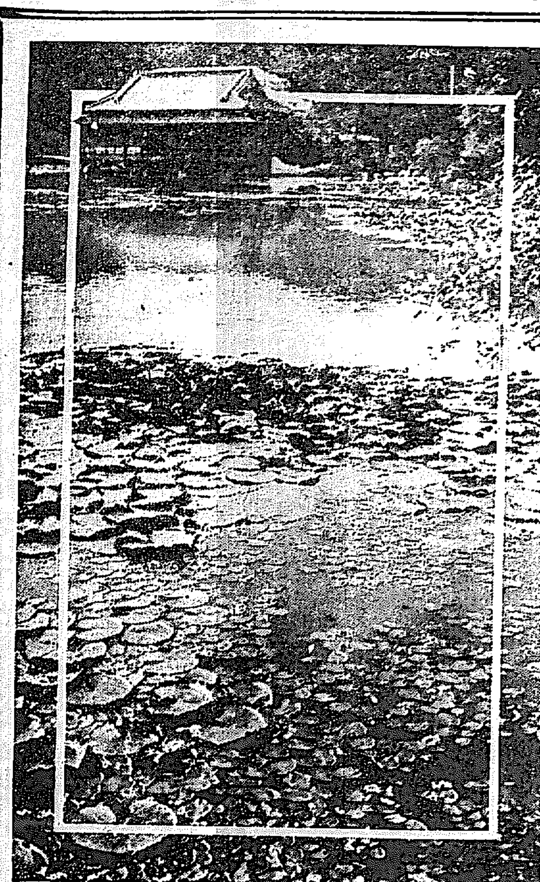
◆愈よ不審の點多きより同卅八日同署巡査は蓬萊館にて同人に就き訊問したるに中村春太郎とは僞名にして實は香川縣高松市西新町通り[illegible]銀行高松出張所員十河喜太次(三七)と云ふ者なる旨申立て所持金を調べしに現金八百餘圓を所持し居れるより兎も角同署に連行し厳重に取調べたる所同人は前記出張所の主任山本啓太郎の甥なる會計係伊藤精一(三)と共謀し本年六月中旬頃大阪府西成郡鷺洲町字浦江關西電氣株式會社支配人尾崎[illegible]が高松に於て振出したる

◆額面二千圓の約束手形を取り出し七月大阪に赴き東區谷町三丁目ピーブローカにて千八百圓にて割引し内一千圓を振出人たる尾崎に渡し殘金八百圓を精一と共に遊興に費消したるのみか更らに同縣大川郡丹生村長有馬敬介の所有に係る高松市堀岸町の劇場歡樂座及び同市内町の宅地を賣却すべく運動せるを聞き込み有馬の周旋人なる中村寛太郎に謀り同銀行出張所に三千圓の預金を爲せば一萬五千圓の當座小切手を發行し融通すべしと欺き

◆三人共謀して遂に三千圓を有馬より騙取して各々分配し之れが責任は全部喜太次が背負ふべしと密約を爲し其儘朝鮮に逃れ來りし旨自白したるを以て東萊署より高松署に照會中なるが何れ一兩日の内犯罪地たる高松に押送さるべしと(釜山)

障子一枚で懲役一年

富山縣中新川郡高野村生れ龍山漢江通十三番地中村方の雇人なりし東野伊平(三)は六月十九日午後九時四十分頃京城本町一丁目飲食店田代八百次方にて飲酒酩酊の上家人と爭ひ燐寸にて同家の障子に放火し大事に及ばんとせるを直ちに消止めたるが損害は僅か五十錢位なりしが放火罪として檢擧せられ京城地方法院にて此の程懲役一年の處分となれり



◆夕立のあと◆——李王家植物園にて——

氣温降る

曇雨天續かん

四日午前黄海北部に現れたる低氣壓は其の中心示度七百五十ミリメートルを示し其の影響に由り四日朝來氣温甚だしからしが午前十一時十分より降雨あり正午迄に一ミリの雨量あり聊か驟雨の狀况にて其の降雨區域は比較的廣く朝鮮各地に亙るものゝ如く該低氣壓は急速朝鮮を通過し終るとも觀測せられざるを以て一兩日中は曇雨を持續すべく随つて氣温も多少降下すべしと

僞名して横領

墮落した工手學校卒業生

[illegible]縣西加茂郡[illegible]町生れの永田三[illegible]て工場監督に雇はれ十一月より本年二月迄に同家より三百餘圓を横領し新町遊廓[illegible]都樓に通ひ詰めて娼妓[illegible]に[illegible]其の結果罪の發覺を恐れ[illegible]に潜伏中を同地門前署の手に捕はれ目下取調中(名古屋)

◎[illegible]各船上陸者　三日午前九[illegible]

三日午後九時釜山入港壹岐丸二二[illegible]

操、中村政次郎、須賀重彦、同直枝、林田浩、有松岡彦、遠藤はる、富士たけ、李鉉熙、服部孫太郎、若我naal二、白垣善四郎、臨川守雄、池田信乃八阪兵吉、浦茂右衛門、同たみ(三等)百十九名

[illegible]　信濃、朝[illegible]ンク(三[illegible])　戴、露國人スト[illegible]ク、同ストロシ　二十三名

神戸地方　暴風雨

瀬戸内海との航海杜絶

二日夜來の暴風雨にて神戸にては多數の遭難船あり瀬戸内海との航通杜絶の姿にして遭難船乘込みの男女六名海中に落ちて行衛不明となり其他溺死者多數ある見込み(大阪特電)

天龍丸坐洲

日本郵船會社傭船天龍丸は二日宮崎縣油津にて暴風雨に遭遇し坐洲したり(大阪特電)

稲苗枯死

煙毒被害甚し

愛媛縣越智郡櫻井村にては四阪島の濃厚なる毒煙飛來し田畑に被害多く水田百町歩爲に稲苗枯死するに至れり(大阪特電)

重罪囚決死の絶食

熊本監獄より山口監獄に移せし十二年囚大谷道太郎は六月二十日より死を決して一切食を採らず昨今蟲の息にて死に瀕せるが監獄にても持て餘し居れり(大阪特電)

大阪糖界名物男　河野藏次等の豫審終結

二十五萬圓を烟になし行衛不明となりし大阪糖界の名物男河野藏次及び大阪債券會社重役角谷光次郎外三名の文書僞造行使詐欺横領其他の犯罪事件は愈々豫審終結して公判に附せられたり(大阪特電)

馬賊に化けた邦人強盗團

逮捕される迄

八月一日夜滿洲長春露西亞銀行代理店支那人孫九榮方に支那服を纏ひ馬賊に扮したる十一名の邦人強盗團闖入したることは既電の如くなるが之れが詳細を記さんに孫は常に露亞銀行より

▲多額の金員を授受することを探知したる長春東十六區居住の黒田退藏(三六)が主魁となり外十名の邦人を語らひて件の一團を組織し同夜午前一時頃何れも覆面し刀、棍棒、剃刀等の獲物を各自に携へ一部は見張りをなし他の者は室窓を破壊して侵入したるが折柄三室より成る同家には主人孫及び來合はせゐたる

▲八歳の少女とボーイと數名の苦力あり入口の室に臥寝中なりしボーイの劉天德(一五)を縛り上げたる際五十歳許の一苦力が激しく抵抗したるより頭部を二箇所を斬られたるが劉天德は『馬賊なんな』と連呼したるより頭部其の他八箇所に重輕傷を負はされたり、この物音に目醒めたる主人孫は少女を戸棚に匿し[illegible]賊を目蒐けて

▲拳銃を亂射したるより賊の一名なる大久保京助(二九)は大腿部を貫通され何れも驚きて强奪したる衣類數點を携へたる儘室外に逃走したり然るに狼狽して逃げ場を失ひたる幾島龍藏(三)は最初侵入の際破壊したる窓口より脱走を企て首を突き出して藻掻き居るを見たる劉ボーイは他の苦力より繩を解かれたる件の廉繩を幾島の足に搦めつけて引き落し苦力等協力して雁字搦めに

▲縛り上げて袋叩きとなし同時に警務署に急報したるより非常手配の末犯行後四時間以内に賊は悉く逮捕され負傷者は何れも手當中にて犯人等は厳重取調べ中なるが何れも長春居住の者にて相當職業を有するものなりと其の姓名左の如し(長春)

▲栃木縣宇都宮市[illegible]黒田退藏(三六)▲山梨縣中巨摩郡[illegible]村中澤三作(二七)▲埼玉縣大里郡男衾村大久保京助(二九)▲神奈川縣愛甲郡三芳村田村萬吉(三〇)▲群馬縣勢多郡[illegible]村[illegible](三〇)▲埼玉縣[illegible](三二)▲[illegible]幾島龍藏(三[illegible])▲[illegible]十郎(二八)

(三一)

水泳練習と警察歌

警官練習生百三十餘名が三十一日より三日間西氷庫に水泳の練習を試みた事は既報の通りであるが其の朝夕往復には左の如き警察歌を高唱しながら四里半の道を歩いたさうである、歌詞は松井署長が水泳の傍ら熱砂の上に筆を飼して作り上げたものであるといふ

> 抑も吾等の職責は、安寧秩序の維持にあり
> されば寸時も油斷なき、不眠不休の職責ぞ
> 共修むべく守るべき、道の數々限りなし
> 剛健の身體に、誠實純潔を宿すべし
> 仁義の道を辨へて、人に施し導けよ
> 義務勇氣を愛ひて、如何なる事にも屈するな
> 上下の和親を厚くして、共同一致の効を成せ
> 事を處理する公平に、而も迅速なるべかし
> 法律規則の執行は、寛嚴其度に適ふべし
> 鋭に接くる誠心は、暫時も忘るゝ莫勿れ〳〵

鮮人謀殺嫌疑

神戸濱崎通り朝鮮人權重弼(三九)は妻との間に二人の子供あり此の程三人目の子供を産みしが俄かに死亡せしより謀殺の疑ひにて目下取調中なり(大阪特電)

昨報(午前九時二十分)[illegible]▲位置、黄海北[illegible]▲方向、北東▲[illegible]

滋賀縣に虎列刺發生

滋賀縣上狛村に三日虎列刺患者一名發生せり(大阪特電)

神戸給水停止

神戸水道涸渇の爲め三日降雨ありしに拘はらず動力用の給水を停止せり(大阪特電)

□八月四日温度(午後三時京城測候所發表)

華氏八十五度三分

三日最高温度九十五度五分

灯ともし頃

▲李王職美術品製作所は過日來内部の一大整理を爲ると共に▲李王職の所管から獨立經營されるやうになると專ら噂をするものがあるが▲同所矢上主任の言に由ると夫んな噂は事實無根で製作所は相變らず從前通り李王職所管の下に經營される筈だといふ▲製作所の販賣部に居る女事務員は皆んな別嬪揃でもあるが不思議に又嫁入先が付いて雇入てもすぐに良縁が在つて出て行つて終ふので之れには製作所でも閉口するそうである▲現に昨今も欠員が有るから一人雇入れたいと云つて居る嫁入先を探して苦心して居る娘さんは申出て見ては如何だらう▲但し獨身の女子にして十八歳以上の美人たるべしと云ふ條件をとくと御承知の上で申込まぬと『貴女の御面相ではドゥモ』なんて御斷りを喰はぬとも限らぬ▲三日の夜朝鮮ホテルの宴會の模擬店で『しること團子』の店は千代本の女將『七色茶漬』の店は菊やの先生御亭主役で頗るもてなしに力めて居た▲茶漬の看板には例の一休の歌『三度焚く飯』を頭だけ作りかへて『めしに焚く米さへ硬し柔かしまゝにならぬは浮世なりけり』と店口に掲げて置いて一々お客に説明をして聞かして先生頗る得意滿面スッカリお客を弟子扱ひ▲此れに反して千代本の女將はしること團子は忽ち賣切になつたが團子はほとんど殘つて了つて大損ダスエーと零して居た

讀者文藝(一等に五十錢二等に記念品を呈す)

○居候下女に理想を聞いて見る(第一)　延金五暁

▲川柳『下』　木浦城外

▲下足番してこの運を待つて居る　大連　青村

▲下手な將棋で聴いてる旦那藝　義州　松月

▲俗諦『味』

▲貧づしい仲にも世帯の上手妾が気立の山椒味　汗浦　紫浪

▲持つた當座の世帯の味を疊み込みたい未熟な字　利川　ふの字

▲味な言葉にツイ欺まされてなめる世帯の苦い味　元山　内山淺思

仁川海水浴潮時早見

九日滿潮午前九時二十一分

十日滿潮午前十時十二分

讀者文藝課題及び募集規定

▲物は付「[illegible]るもの」[illegible]締切[illegible]四日　發表[illegible]五日

▲募集規定　同形の洋紙一枚毎に[illegible]雅號の外に住所氏名明記の事[illegible]は一週間後▲題組の[illegible]

▲川柳は端書[illegible]

天

は

曇り小雨

▲八月五日[illegible]

商況

大阪株式

銘柄	前場	三日後場
宇治川水	[illegible]	[illegible]
京阪電鐵	[illegible]	[illegible]
東洋紡績	[illegible]	[illegible]
合同紡績	[illegible]	[illegible]
鐘淵紡績	[illegible]	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]
東洋汽船	[illegible]	[illegible]
大阪商船	[illegible]	[illegible]
日本郵船	[illegible]	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]
堂島米穀	[illegible]	[illegible]
東京新株	[illegible]	[illegible]
大阪株式	[illegible]	[illegible]

大阪三品特電

四日前場	
八月限	[illegible]
九月限	[illegible]
十月限	[illegible]
十一月限	[illegible]
十二月限	[illegible]
一月限	[illegible]

大阪期米特電

四日前場	寄付	引
當限	[illegible]	[illegible]
中限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

下關期米特電

四日後場　薄照、雨不足

	當限	中限	先限
寄付	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]	[illegible]

雜報

◉銀復た騰る　銀塊は三日に四十片五分八と騰り共榮は[illegible]

◉一圓九十錢高の大連入電大連市場鈔票換算は四日午後前一圓二十八圓十錢に達したり

◉綿糸布大反撥　低調たる暴落を演ぜし三品綿糸も二日の安値を底として昨今兩日に急激なる大反撥を惹起し今前場は當限の三百圓臺を除きて他の五期は何れも

◉四百圓臺に復活　四日前場三品綿糸は當限六十六圓餘先限三十三圓の反撥を演ぜり

◉綿布は三二銘十一圓九十錢の入電ありて一時盛氣を呈せしも[illegible]

▲九十錢再び活氣を呈するに至れり

◉生糸更に昂騰一時　生糸市場は賣物極度に拂底を告げ居れるより連日暴騰せし一般の妻に見受けられし橫濱生糸元來が賣物極度に拂底を告げ居れると連日暴騰せし三品の持合ひ為に許さるゝ事直接の影響は遂に本日の入電も前場は千七百七十圓を報じ前更に二十圓方昂騰せり

◉滿洲大豆復騰　三日大連取引所に於ける大豆現物は前の七圓卅錢高の八月物八圓三十三錢となり[illegible]

◉平板厚番突飛　平板厚番は人氣益々強く今回更に五十錢方の突飛二十六番市中値段を告げ六十錢の新値を現はし五圓六十錢[illegible]六圓五十錢[illegible]

◉帽子類好況　市中夏帽子は[illegible]

◉鹽鯖下落す　元山鹽鯖は[illegible]三錢二厘[illegible]元山入電は同地の[illegible]

◉釜山穀物市況　釜山穀物市況七月中賣買出來高及び價格左の如し

品名	數量	最高	最低
糯米	[illegible]	[illegible]	[illegible]
中白米	[illegible]	[illegible]	[illegible]
玄米	[illegible]	[illegible]	[illegible]
右内日本種	[illegible]	[illegible]	[illegible]
糯米	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大麥	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小麥	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]		

◉洋釘一部引締め　洋釘は原料高を受けて各時共强氣を呈せる[illegible]

◉一樽五十錢方騰貴　[illegible]

◉人造石盤好況　[illegible]

◉領域擴張　[illegible]

◉上げ約四割高に當り二圓方を引[illegible]

◉九州行の果物　[illegible]

京城正米

[illegible]

南大門の廻穀

平澤玄米	[illegible]	[illegible]
仁川西貢	[illegible]	[illegible]
烏山白米	[illegible]	[illegible]
平澤白米	[illegible]	[illegible]
平壤白米	[illegible]	[illegible]
山白米	[illegible]	[illegible]

釜山穀物(三日)

▲正米(同業)[illegible]

生魚市場

[illegible]

仁川米豆取引所仲買人　仲買店

主任　西川平治郎　電話[illegible]

◉案外薄く未だ相場の上に利目なし

◉降雨の影響

市場零聞

▲俄然暴落す　[illegible]小安き入電と相俟つて投げ續出に加へて雨を見ての新規賣物輻輳[illegible]

▲八十一丁の大暴落　[illegible]

▲逆鞘更に大　[illegible]

▲丁の大下鞘を附[illegible]

▲降雨少量　[illegible]

▲大激戰大商盛　[illegible]

仁川期米

四日前場(崩落)

天候晴　大阪[illegible]

安の入電に[illegible]

錢と二十錢安に寄付

▲五十五錢と暴落

▲返し八十一錢と跳

戰裡に不勢の成行

仁川米豆取引所仲買人

大五仲買店

海岸町三丁目

電三〇九[illegible]

仁川米豆取引所

四日の十月限

寄付	[illegible]	
高値	[illegible]	
安値	[illegible]	
止め	[illegible]	
出來	[illegible]	

	賣買	取組高	前日と比較
八月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三日後場	[illegible]	[illegible]	[illegible]

素練玉と碎け落つ十二丈(下)

多く世人に知られざる玉吉の瀧 京釜線深川驛より約一里半の

今や眞夏、就中旱魃の眞最中で水量甚だ多からねども先づ八挺位の水車を動かすには足らう、仰ぎ見れば自然の斧鉞に刻まれたる奇巖怪石嶇々として天そゝり立つ雄大の景象は、もよつと人間共の小さい智恵より捻り出す形容詞が見當らぬ、兎も角素練十二丈、玉と碎け雪と散つて、霧と消ぬる處、岩鳴ク、と嘯いて先づ仙境だなあと感心するに足る

衣を脱いで飛び込めば瀑頭百二十尺よりポタリと落ちた長いものがある、と手に押へんとすれば道はそも如何、捉て鰻が吾人に敬意を表するのだな、二尺にも近かるべき鰻の御大であつた生擒したは宜つたが一同悽慘の氣にうたれて先づ涼味一掬、持參のサイダーを瀧壺に冷やして渴を醫す爽涼ソクソクとして人の肌に迫り、夏尙ほ暑を知らざる處は流石、玉吉の瀧の難有い處である

汗を拭ひ涼を納れて上瀧を見んと攀ず、所謂羊腸の如き險路、夏草茂る小徑を拾ふこと約二町許り、瀧の流れにて約五坪程の水溜がある、水淸冽璞の如く白砂底に光つて仙女も來り浴するに宜し、深さ又乳に達せず身を洗めて山の高きを思ひ水の長きを想へば詩趣俳趣滾々として雲の如くに湧く魚あり岩魚と稱し、人に馴れて手に掬ふべし、花あり桔梗、女郎花、萩なんど咲き亂れたり

この水溜より瀧を見れば白龍躍り、紫虹閃き、慄然として身に粟を生せしむ、若しそれ盃を此の壺中に浮べて曲水の宴を張らんか、天女天降り來つてお酌もすべく、俗念去り妄想散じて羽化登仙するかも知れぬ、それより尙其の上流を極めんとすれば日糸の瀧、素麵の瀧、牛乳の瀧、大小三五數ふに遑あらず、大同小異の瀧壺あつて岩魚の族あり手に唾して掬ふべし、惜しむらくは樹蔭に乏し、李朝五百年の秕政は此の瀧にまで禍する事何ぞ甚しき

瀧を見つゝ水を賞めつゝ涼を納れつ、遊客の客を呼ぶの設備絕無なるを慨みつゝ、又元來し道を辿りて深川驛に歸る、日は午なり、草いきれして空腹の足には矢鱈に重い、又錦江を徒步して大善驛長の官舍に休憩、鰐腹御馳走を受けて、約二時間の睡眠を擅にして午後六時何十分の汽車にて大田に歸つた、要するに玉吉の瀧はこの地方に隱れたる非凡の名瀑である切に騷人墨客の淸遊を慫慂するに躊躇しない

大持の日本醫師

寫眞師や理髮師も一箇月二千留の收入

西伯利亞鐵道沿線には既に多數の邦人醫師入込み盛んに活躍しつゝあり同地方には露醫の技倆及び患者の取扱は不親切にして且つ多額の診察料を徵する結果露人は爭ふて邦醫の門に集まり毎朝五時より午後十時頃までは患者の踵を絕たず一日の收入三百留乃至五百留に及びヤポンスキードクトルの投藥は靈驗著しとて大持ての姿にあり醫師に次ぎて收入多きものは寫眞師なり露人は一年に二回乃至四回は必ず寫眞を撮る習慣ある上日本の寫眞師は手際良好なる爲め殊に評判善く露人連は不器用なる露人乃至外國人の寫眞師を捨てゝ日本人の許に走るより繁昌宜しく露國人の寫眞師に比べて五六倍の撮影料を取りても苦情をいはずポトグラフィヤの金看板は殆んど日本人の獨占なりといふも憚らざる有樣にて一箇月大抵二千留前後の純益を收めつゝあり又之に次ぐものは理髮師にしてこれ亦日本人は淸潔にして叮嚀而かも料金低廉なる爲め客足繁く一箇月の收入は二千留を上下すと(最近歸客談)

汗の澤山出る人

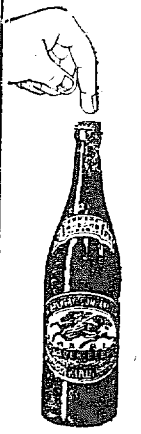
わきがと脂足の手當て

汗は誰にも出るもので汗が出たからとて格別不思議はないのであります餘りに多かつたり少かつたりするのは一種の病氣です汗の出やうの多いのにも全身性と局所性とありますが全身性の發汗增加は或る程度までは生理的で左迄心配すべきものでありませんが肺病患者などに見るやうなのは病的に來る現象ですから決して等閑に附する事は出來ないですわきがは局所性の多汗症で男子にもありますが女子には比較的多いもので少からず人の心を惱ませるものですわきがの手當は素人療法として能く水と石鹼で洗ひますが夫れよりも良いのは腋窩を乾燥させてアルコールとか醋酸の薄い物即ち醋酸を塗り其部分を摩擦し順次醋酸劑を撒布する方が宜しう御座います

◆人の中へ出る時などは斯して出ると一時は惡臭を防げる事は受合です脂足の手當は俗に脂足と云ふ足の多汗症も困るもので冬時分なれば足袋の底がヘドヘドに汚れ夏なれば下駄が眞黑になる事があります之は單に不快極まるばかりでなく一時高まると夏は水蟲が出來たり冬は霜やけに罹されたりするものです療法は

◆水に明礬を溶かして洗つたりフォルマリン療法もよいが一番よいのはヴエストゾールを塗布する事です併し常に淸潔を保つ事足を乾かすやうにする事を忘れないのが何より肝要です

麥酒は何にを飲むか
天下に定評ある
キリンビールを召上れ



渚の砂

■一家族を慘殺 高知縣幡多郡平田村猪田佐市(二三)は二十八日夜日本刀を以て就寢中の弟、兪次、勝の二名を慘殺し母八重、妹とよに重傷を負はせ佐市は其の儘自殺を遂げたが何でも發狂しての結果らしいと

■彌彥の返咲き 日露戰爭の際旅順港口の閉塞に使用された汽船彌彥丸も昨今は舊臘の不足さに又一延つて立派な運送船になり神戶汽船會社の手で二度の務め船中で十八日橫濱に運び入つたが支那祭島通ひをやつてゐるさうな

■鬼の樣な樓主 岐阜縣安八郡墨俣町貸座敷業山田六三郎(四二)は抱藝妓大津市木町生れの曾我きん(一六)を無理に稼がしめて情があるに至らしめ其の外抱への藝妓を十二三位の時に悉く手を附け拒めば理不盡に折檻したことが發覺した或妓は投身を企て或妓は凍死を遂げたものもあつたさうな

■老人連の元氣 東京四谷區麴町宮田竹次郎(七七)同區堀江町宇田川たか(七二)貢橋區瀧谷町伊東榮子(六五)等の老人連は二十三

■手に負ねぬ娘 三河國寶飯郡平坂村磯貝たつ(一八)は十三の時から情夫狂ひ初め其の男に注ぎ込む爲めに澤山な金品を盜んで捕へられた日來京都迄出て無事に踰へて二十七日歸宅したさうな

■不孝者斬らる 大分縣別府町濱脇魚商阿南香五郎(二五)は妻いろ(三〇)が隣家の小野幸平(四三)と不義をなしいろは折もあらば香五郎を亡き者にすべく企てゝゐることを知る破し三十一日午後一時頃兩名の密談中に闖入した香五郎は庖丁を以て二人に斬りつけ虫の息に陷らせた

■逃走に巧なる俘虜 靜岡縣俘虜收容所の獨逸俘虜大尉アルベルト、シューベルト(二四)は二十九日夜鐵條網を越ゆて脫走した前にも二回逃走したが間も無く捕へられた

■僞刑事の用向 犯罪事件の爲め目下收監されてゐる元岡山市商業會議所副頭岡本萬四郎方に先月二十五日僞刑事だと名乗つて洋服姿の男が行き脅し文句を竝べて金を騙つたけれど手附へが無かつたもので娘命を懸にして蹴飛して立ち去つたさうな

妙心寺の接心會

臨濟宗妙心寺別院に於ては納涼會と稱するものあり內地の專門道場に劣らぬ勢を以て多數居士連の劇烈なる參禪辨道を爲しつゝあることは曾て屢々報道した處なるが今月は特に拂曉午前四時より七時迄を期して五日より九日まで大道徹見の爲め大接心會を修行する筈なるが恰かも夏期休暇に際し東京京都等の大學生にして參禪するものあり尙ほ參禪辨道に志ある人の多數來會を歡迎する由

基督教靑年會 納涼懇話會

京城基督教靑年會にては四日午後八時より漢陽公園高臺に於て納涼懇話會を開催し會員各自意見を吐露し親睦を敦うする由なるが山縣ソウルプレス社長は會員の爲め特に一場の講話を試む可しと(雨天なれば延期)

◉小倉病院出火 二日夜小倉病院より出火し半時間にて鎭火したり(大阪特電)

◉合鍵賊は五年 廣島縣加茂郡坂城村生れ前科四犯山田淸吉事櫻田等(三〇)は去る五月二十七日夜合鍵を以て京城南山町二丁目黑松秀太郎方に忍び入り現金十七圓餘在中の手提金庫煙草等を竊取したる一件は京城地方法院に於て懲役五年の處分となれり

◉胃腸病院新築落成 從來て新築工事中なりし明治町胃腸病院は此の程工事落成し診察所及び多數の病室研究室藥劑室隔離室患者待合室等悉く理想的設備完成し兩三日前より假病院より移轉診療を開始せり

素人番附

藝人は下手も上手もなかり、殆行く先々の水に合はねばとかいふ俗諺がある、淨瑠璃社會の旅藝人などは行く先々で人氣のあることは大した遊びで是ればかりは全く技倆に關係が無いらしい、人氣さへ有ればこんな面白い稼業は無いが人氣が落ちれば役、尾羽打枯らした哀れな世渡りをせねばならぬ▲斯う云つて了へば藝人は値打ちが無い別段腕前を鍛へるにも及ばない、好い加減にお茶を濁して行けばよささうなものだが決してそんなもので無い、藝術は藝術として眞摯且つ熱心に、一日も研究を怠つてはならない、玉さへ磨いて行けば何時か光の出る事が屹度ある▲殊に淨瑠璃語りなどは客にこの心掛けが肝要である、先達京城に來て語つた駒島太夫などが案外聽衆の受けの惡く、失敗を招いたのも平素稽古のみに沒頭してゐた結果語り消化すといふ自信と實力が伴はなかつたからだツマリ稽古淨瑠璃になつてゐたからである年は老つても立派に語つて見せると自惚れ過ぎてゐたからである、是れは駒島太夫のみに限らす稽古番となつてゐる師匠達の參考となつたやうだ、師匠にも語り上手の人と稽古上手の人とある、語り上手となるにはやはり舞臺の數を踏まねばならぬが永く稽古番となつてゐる人は何うしても稽古上手となる代りにイザ舞臺に掛けると腕の喰違ふやうに思はれる、駒島太夫なども稽古上手の方で語つては損だと思ふ

演藝雜記帳

三日の晚浪花節に助六一座の落語を聽いた、本人自ら謙遜つて言ふとほり噺しは旨くないそれでゐて藝に熱心で愛嬌があつて馴が達者なのが人氣を呼んで居る、飽られない德な男▲當夜は野晒しの噺しをしたが矢張り眞打を勤めるだけに何處かに他の者と違つたところがある唯、まくらの時時々上腮のあたりで聲を引きながら顎を突き出す癖を屢々やらねば一層いゝと思ふ▲落語角力の行司振りも熱心であると言ひたい、外の連中では雷洲、歌六、蕊樂など皆相當聽かれる▲歌六の醉拂ひの眞似をしながらの音曲は聲がいゝだけに面白く聽かれる▲暑中の際とて一體に高座の短かいのはそのために噺しの筋を喰つて終ふ嫌ひはあるけれども聽く方は樂である▲落語角力は空騷ぎの追ひ出しよりも余程面白いし客にも噺し中の穴を見つけたり耿目を押す人が可なり多くあつて力も入つた▲然し角力に八百長は大の法度であるから態とトチつて客の方に誘ひをかけるやうな事のないように望んでおく。

神社とお寺と教會

○日本組合京城基督教會(南米倉町) 八月五日午前八時半日曜學校及聖書講義午前十時禮拜說教『恩寵の福音』渡瀨牧師午後八時半『風靡ある生活』松本牧師

○南米倉町聖公會 八月五日午前八時三十分聖餐式說教『キリストの空腹』(一色司祭)午後八時晚禱及傳道說教 一色司祭

○メソヂスト教會(旭町二丁目) 五日午前八時四十五分日曜學校十時說教『獅子一如』(?)醫田傳道師午後八時半傳道說教『身分相應』

○救世軍の集會 八月四日(土曜)午後八時十五分首三十銀行前にて『見ゆる迷と見ゆざる眞理』石島大尉五日(日曜)午後八時四十五分『我が見し者は神を見し也』同人

○京城日本基督教會(長谷川町) 本月五日午前九時『我等何を爲すべきか』同午後八時半本間牧師『キリストに從ふの道』同牧師

○東本願寺別院(南山町) 四日午後八時半より信友會例會『眞宗の價値』波多谷開教師

○妙心寺提唱 臨濟宗妙心寺別院にては九日午前九時より大燈國師遺誡の提唱あり參禪者の聽講を歡迎す

水の滴るやうな艶美しい黑髮とする

ホーカー美髮液

□御參考□

■髮の色潤あくまで麗しくする
■いつも艷々しい濡羽色となる
■チヂレ毛クセ毛がなほる
■粘らず、いつもサラくとし
■フケが出なくなり、逆上るをなし
■毛髮の發育を補ひ
■拔毛を止め香水代用となる

定價 大三十五錢 小二十錢 送料 內地無料 滿鮮三十錢

全國到る處の小間物化粧品店藥店に販賣す若し品切の節は本舖宛直接振替又は三錢切手代用にて御注文を乞ふ

本舖 堀越嘉太郎商店 電話神田特長一四三〇、長一四四〇、一四五 東京神田和泉橋口 振替東京一五六

婦人之友八月號 理想生活號

如何か理想的 三宅雄二郎
理想的の食事法 醫學博士 近藤乾郞
理想的の淸潔法 理學博士 谷津直秀
理想的の安眠法 醫學博士 佐野彪太
◉理想的の掘井戶……◉理想的のお產室……◉理想的の戶締り……◉理想的の鼠退治
私の理想生活 羽仁もと子
◉四つの銅貨 松岡久子 ◉衣類整理問答 ◉子供と金錢教育 ◉產科婦人科 ◉草木の病を治す病院 ◉山上キャンプ生活
斯して手廻しよく暮します…… 加藤大洋夫人
次の時まで延さない主義…… 井上夫人
◉簡單な組刺の仕方 ◉ドロンウオークの仕方 ◉時世のスケッチ ◉新工夫の夏向窓かけ ◉少女の髮かたち
雨を冒して白馬山に登る 引地さよ
◉夏の思ひ出 千葉萬壽子 ◉家庭小說 若草 佐藤紅綠
◉能率的の臺所 ◉家庭で出來る菓子 ◉歷史小說 淀君 中里介山
◉凉しさうな西洋料理
毎號連載 家庭洗濯法 山下榮藏

一冊二十五錢 郵稅二錢 東京市外雜司ケ谷 婦人之友社 振替東京一一六〇〇

生松丸太(杭木並に小屋丸太)湖南線井邑驛前及京元線釜谷驛に出材あり
松大丸太 長二十七八尺以上三十尺位 末口五寸上 赤身
靑竹 新荷著
杉皮(安價なる屋根葺材料) 新荷著
杉丸太 足塲用(二間以上五間半以下) 各種 檉材(製車用) セメント 新荷著

但し多數新荷著あり京釜沿線に御入用の節は御便利の爲め釜山港に多數積材あり

右特に廉價を以て御用命に應じ可申候間多少に拘不御用命の程願上候

京城府岡崎町 三幸洋行 電話長二八〇〇番 振替京城三一九五番

營業品目

肥料部 蒸製骨粉、乾血、蹄角粉、星印配合肥料、細工用地骨、細工用蹄角各種膠及膠原料

石鹼部 化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼、牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達

京城東大門外紅葉町 朝鮮肥料製造所 電話二六三五番

京城岡崎町一四番地 朝日石鹼製造所 電話二五六四番 長電話九七三番 振替口座京城〇〇四番

大阪堂島米穀取引所仲買人 片山政藏商店

致富之栞……商報……進呈 多少に拘らず御用命の程奉願上候

堂島濱通壹 電話長北六四三 二一〇一 二一〇〇 二一〇二

早稻田大學學生募集

大學部		
政治經濟學科		
法學科(獨法、英法)	高等豫科	大學部三ヶ年
文學科(哲學、英文學、史學及社會學)		高等豫科二ヶ年
商科		
理工科(機械、電氣、採鑛冶金、建築、應用化學)		

專門部	
政治經濟科	三ヶ年
法律科	

高等師範部	
國語漢文科	本科三ヶ年
英語科	豫科一ヶ年

△附設早稻田工手學校も生徒募集中なり、詳細は同校へ御照會ありたし

專門部各科第一學年 中學程度諸校卒業者は九月中無試驗、その他は九月三日(月)午前八時入學試驗(中學校卒業程度)

高等師範部豫科第二期 九月三日(月)午前八時編入試驗(同豫科第一期修了程度)

高等豫科各部第一年第二期 九月一日(土)午前八時編入試驗

(高等豫科第一期修了程度)願書に試驗料三圓添付、詳細は京牛込早稻田大學事務所へ宛三錢郵券封入請求のこと

京城附近又は全羅南道に於て農作物耕作地一二町步並に住宅と共に買入たし希望者は其の位置地坪所在地番正確なる價格及略圖を添へ至急申込あれ

大阪南區日本橋筋二丁目 岡田海洋堂

十四金ペン先 スワロウ印 萬年筆 一圓五十錢より 八圓迄 各文房具店に販賣せり 東京本郷 朝鮮特約發賣元 寶文房具部

酷暑の砌益御清穆奉賀候小生儀今回拓殖局へ轉任を被命候處任地赴任を急ぎ候爲め御暇乞も不申上發程仕候段不惡御諒知被下度茲に紙上を以て御禮旁御告別申上候

入江海平

期米 曾我商店 大阪堂島米穀取引所仲買人

鴨綠江材値上廣告

大正六年七月二十五日より營林廠木材標準價格改正に付杉松挽材及板材共約一割値上相成候間此段廣告仕候也

大正六年八月

京龍材木商組合

懷中淸涼丹 要藥

暑氣、胸痛、腹痛、下痢、時候アタリの應急藥、飲食後常用せば胃腸を健にし消化を助け食物中毒コレラ赤痢チブスの豫防となる

口中を淸涼にし痰咳を鎭め咽喉を潤ほし氣分を爽快ならしむ

東京日本橋元大坂町 高木與兵衞

御會葬御禮

大正六年八月四日

父 二宮常一

(支那上海に… 手家の金三百圓を橫領し裁判所に… 一家理事… 昨年二月渡鮮入京し… 前田定雄と僞名し… 家なる… 七月一日名古屋に逃げ歸り情婦の… 同女を伴ひ去りて本… 吉方…)

(一等三名)喜多榮宣、高橋是秋、露國人シン…(二等二十四名)能登慶一、小川地喜啟、北… 卯之助、坪井はま、揚恩波、李子官、畑銘三、… 美喜、同手鶴子、同正雄、貞田とく、大原五輔、吉岡初、齊藤定義、推謙佐介、弘保武敬、渡邊… 之助、昭田富治、佐々木語一郎、上野恭夫、主昭

(南行) 仁川沿岸 時三十分調鎭所發

五月 六日 同 六日 同七日 七日 同八日 八日 同九日 九日 同十日

豫報 京城測候所

明君道中記

第二百廿五席　田邊南龍口演

毘々長吉は半兵衛が立うとする處を止め長「お腹も立ませうが何事も勘辨して何うぞ子分を免して遣つて下さい 半「汝の處へ行つたものだから其方が子分にしたら宜からう 長「俺が子分に出來る位なら手を拱いてお願ひはいたしません 半「第一汝の親分又兵衛といふ奴が氣に叶わねえ今堅氣になつたといふが[illegible]へば面を外向けて挨拶も爲やアがらねえ、元の事を忘れるなと云つたら又兵衛に然う云へ 長「それは申し[illegible]けますがその[illegible]

る、長七郎は此の樣子を見て 長「コレ[illegible]しき服装をして何處へ參るのだ 又「エー、旦那[illegible]讓なきことあつて港町まで參ります、年中變も無いと[illegible]の道[illegible]

湊町の鍋屋半兵衛方では此の事を知らせを聞いて兄弟分の許へ人を走らせましたから、ソレ半兵衛に加勢をしろと雛澤組の者、阿波屋藤馬の五郎藏、[illegible]の勘次等が廿人計り[illegible]三十人兄の子分を引連れて湊町へ來た、半兵衛は大きに喜び、半「皆の衆、日頃兄弟分の好誼を捨ず能く來てくれなすつた[illegible]いふことを聞いて來たのだが、[illegible]端から遣つけて又兵衛親子を殺して[illegible]居りまする

でございません、俺が師ひだ背いて頂きたいもので 半「成らねえと云つたらくどい奴だ、ソレ野郎共此奴を表へ突出してしまへ、奥に居た五六人の子分が其處へ飛んで來て 子「くどい事を云はねえで早く歸んなせえ」と長吉を表へ突出ましたから長吉も殘念とは思つたが其儘に立歸つて親分又兵衛に此話をすると氣性の勝た又兵衛のこと故 又「獅子戯た奴だ、成程途中で遇たこともあるが面倒だから口も利かねえ、其を根に思つて賴みに行た汝を突出すといふのは亂暴な奴だ、宜し長吉俺が一緒に行つて談をして遣る」と又兵衛が出懸けやうとする時に宅に居つたる子分共 ○「ヤー親分お前さんが行くなら俺共も一緒に行きませう」と七八人の若者が又兵衛と共に出懸けやうとす

る樣な處へ立ち入つて御怪我でもあつてはなりません 長「宿[illegible]人が五十人三十人居つたからとて怪我をいたす樣なことは無いから心配いたすな 又「ヘエ 長「コレ[illegible]次其方共も一緒に參れ 又「[illegible]喧嘩に行くのでございますか、そいつは豪氣で、俺は假より喧嘩が好きで、忘れもしねえ東海道で燦いて居た時分吉田の宿で侍と喧嘩をしまして先方は刀を持つて居るが俺は無手でございまして、仕方が無いから飛込んで指で侍の眼玉を突いて遣りましたが、オ！痛いて顏仕ツたから、其内に逃げてしまひました 長「イヤ亂暴な奴があつたものだ 何にしろ喧嘩と聞いちやア居られねえ」と支度をして三次も跡から從いて參りまする。此方は

りん病

消渴を自宅で秘密になをす

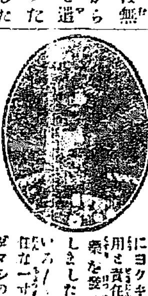
家傳秘法の妙藥あり同病にて困る方只一劑を試よ切手三錢封入人助けに其妙藥と自宅療法の詳細を教ゆ

名古屋市南かじや町 武藤亀吉

人から嫌はれる
わきがを

▲根元まで全ズグ全治なさい ハガキで申込めば直に説明書無代進呈す

◎音尾博士の發見



今回最も進歩した「チゼン液」と云ふ不思議にヨクキク[illegible]

東京府下巣鴨町柏木百貳拾番地
東京博愛藥院

牛乳　病院御用
京城東四軒町
岡野牧場
電話一〇六九番

八月六日
本命五黄八方[illegible]

日演藝案内

櫻井町　電話八七三　大正館
[illegible]

有樂館
[illegible]

京城　電話三七八番　壽座
キネオラマ應用悲喜劇　児突會一行

電話二三六七　黄金館
▲一番目　喜劇　家族會　一場
▲二番目　新派　日九　三場
▲三番目　悲劇　神港情話　二場
▲四番目　喜劇　トランク　一場

明治町　電話二六〇　浪花館
東京落語　雷門助六一行
▲落語 ▲落語 ▲落語 ▲音曲手踊 ▲落語 ▲名物踊 ▲落語劇
▲入場料　一等金三十五錢 ▲二等金廿五錢 ▲三等金十五錢

京城黄金町三丁目　電話一四四三番　振替京城三二八番
内科、眼科、小兒科　本田醫院
院長　本田建義

痔核。痔瘻。脫肛痔
裂痔。痔出血。直腸脫
本田醫院附屬
京城肛門療院
肛門病の話(痔疾持療法注射根治療法)御入用の方は郵券十二錢を要す

最上醬油
朝鮮仁川府
高杉醬油醸造場

寫眞
京城日報社寫眞製版部

ミツワ石鹸

○ミツワ石鹸は

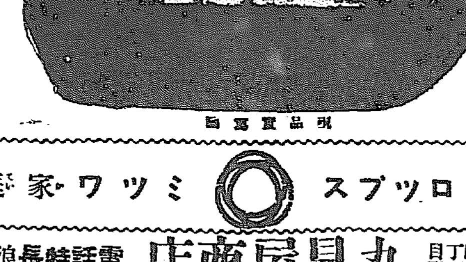
純正の石鹸は亞爾箇保兒に透明に溶解し、遊離脂肪なきが故に混濁する事なく、混合物なきが故に些の沈渣をも殘留せず、更に「フエノールフタレイン」を以て、仔細に遊離の亞爾加里を驗するも、毫末の反應を呈する事なき、是を化學上の純石鹸なりとす。皮脂の分秘量多くして而かも粗糙なる本邦人の皮膚、及び漆黑を貴ぶ毛髮の洗滌に用ふべき化粧用石鹸は、啻に化學上の純石鹸たるの故のみを以て、其適否を論ず可らず

化學上の純石鹸たるのみならず、なほ左の性狀を具備す。

一、原料を精選し、脂肪に、香料に苟も刺戟を感ずべき虞れあるものを用ひず。
二、温雅の芳香を有す。
三、細き泡沫を生じ、適度の溶解性を備へて、能く水にも溶解し、而かも浴室に用ひて半途に溶け崩るゝが如き憂なし

故に、一般の家庭に於ける、浴室、化粧用として、衛生に叶ひ、經濟に合する、理想的實用品なり。

種類	
大形家庭用	定價金弐拾錢
中形携帶用	定價金拾參錢
小形旅行用	定價金拾錢
極小形旅館用	定價金五錢



現品實寫

肝油ドロツプス ミツワ家庭藥

東京市日本橋區橘町四丁目
丸見屋商店
電話特長浪花 四四四八番 四四四九番 四四〇五番
振替東京 一〇一七番

七日ツゲタラ鏡をごらん色白くなるゲンジ液

今東京で大評判の元素液色黒き顔皮を顔日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに眞に色白く美人美男子となる全國の藥店小間物化粧品店にあり近所に品切の時は切手代用御送附あれば送品す　送料内地八錢 消鮮卅錢 臺樺卅錢

東京神田和泉橋際　松本樂店

小瓶二十錢　徳用四十錢

消化と毒けし
仁丹

▲浴後の仁丹一粒は
けふ一日の疲勞を恢復し新しき勢力を生む
誰方も缺さず朝夕に暑さ忘れて夏瘦知らぬ
仁丹必ず召上れ!!

活用
㊀防疫に仁丹……五六粒
㊁悪醉に仁丹……二十粒
㊂食後に仁丹……四五粒
㊃船暈に仁丹……七八粒
㊄頭痛に仁丹……十五粒

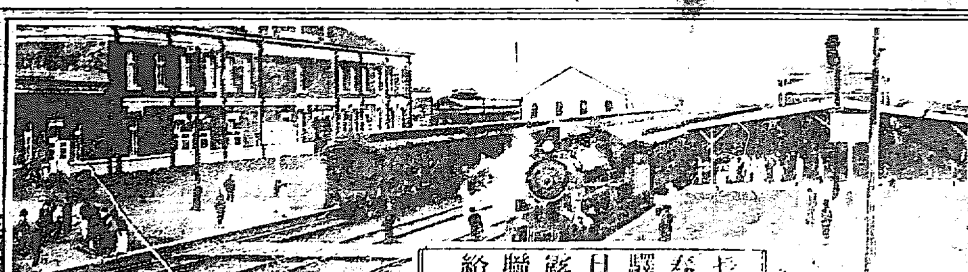
金言
氷は水より出でて水より寒し
(孔子)

汽車 [illegible]

京城日報　第三版　八月五日（夕刊と合せて八頁）

本紙定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金五十五錢　前金一ヶ月金五十錢

發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社　發行兼編輯人　奥田直　印刷人　小川三之介



長春驛日露聯絡

鮮鐵沿革史略（中）

朝鮮開發に致したる貢獻

▲縦貫線の急設

京釜鐵道は前記の如く明治三十一年九月韓國政府の特許を得三十二年同鐵道發起人代表者大江卓氏等は實地視察のため來鮮せり三十四年六月株式會社を組織し次で八月京城釜山の南端より工事に着手せしが、其の前後より露國の壓力は漸次南滿洲に加はり來り、極東の時局漸く急を告ぐるものあり、乃ち三十六年末政府は會社に對して軍事上の必要より如何なる困難にも打克ち翌年中に全線の開通をなさしむるやう命じたり、然も風雲の去來は日に漸密を加へ遂に翌年二月日露戰役の開始となりたるが兩國の干戈相見ゆるや、政府は更に京城義州間に於ける鐵道敷設の必要を感じたりしかば、臨時軍用鐵道監部をして之れが急設工事に當らしめ、又後數月を經て更に南鮮の要港馬山浦鐵道の敷設に著手せり、如斯にして韓國に於ける我が鐵道經營は戰時に於て著しく其の歩を進め、三十七年末先京釜鐵道全通し翌三十八年京義線馬山線の二線亦開通したり

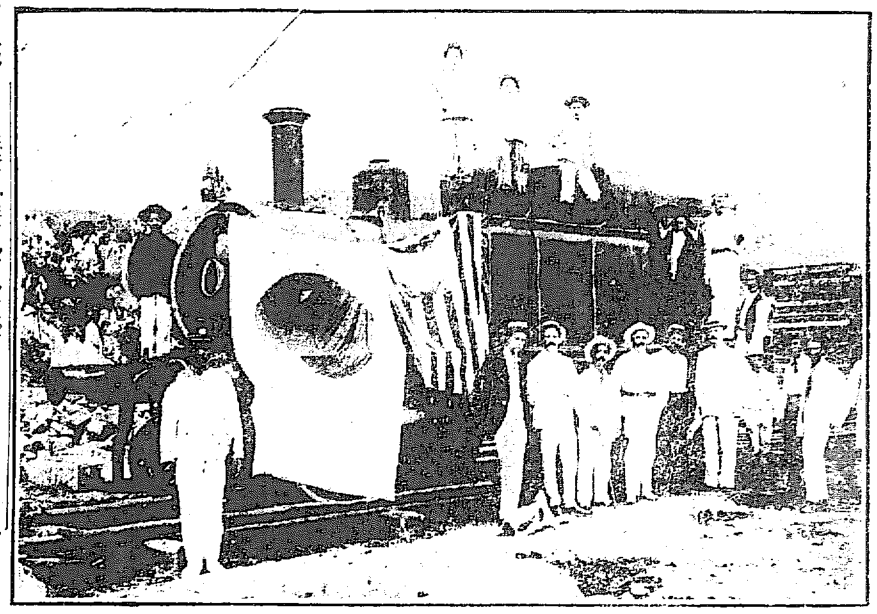
▲朝鮮鐵道統一

日露の戰後帝國政府は韓國の指導者として半島開發の任務を擔ふに方り第一に其の必要を感じたるは鐵道の統一なり、當時唯一の半島縱貫線も其の一半は私設たる京釜鐵道會社の經營に屬し他は軍事急設鐵道なりしを以て之れを半島拓殖の先驅として能く任務を盡さしめんとするには滿足なりと云ふべからず宜しく之れが改良工事を促進して貨客輸送力の增加を期せざる可らず、且つ京釜京義の二線は關釜間連絡航路と相俟つて世界交通の幹線たるべき使命を有するが故に之れに適當なる設備を加ふるの必要ありしを以て乃ち政府は明治三十九年三月京釜鐵道買收法を制定し、同年七月京釜間の鐵道及び從來の三十六年京釜鐵道會社が買收したる京仁間の鐵道を統監府鐵道管理局所管の國有と爲し、韓國鐵道特別會計を設けて之れを一般會計と分離し以て其の改良發達を圖り、次で九月京義馬山浦の二線亦統監府鐵道管理局に引繼がれ、帝國の韓國に於て占有經營する鐵道は玆に初めて統一するを得たり

▲鐵道經營の移管

韓國鐵道の統一普及は我が半島統治の第一義たるのみならず、京義京釜の兩線は歐亞連絡の要衝にして我が國は戰後新興の強國として一般經濟上にも先進諸國と比肩併立するの時に當り此の公道を開きて世界の交通に貢獻する所なかる可らず、統監府鐵道管理局の設けらるゝや、特に臨時鐵道建設部を設け建設改良事務を管掌せしめ專ら京義線の改築を急げるは此の使命を果さんがために外ならず

其後四十二年六月に至り管理局を廢して統監府鐵道廳を置きしが同年十二月鐵道院官制の改正と同時に韓國に於て帝國の經營する鐵道は統監府の所屬を離れ鐵道院の所管に歸し建設事務を分掌せしめらるゝに至れり



鮮鐵最初の汽鑵車

統一の精神と効果

經營をして遺憾なからしめよ

東洋拓殖會社總裁　石塚英藏氏談

◆統一は大勢也

滿鐵と鮮鐵の統一經營は鐵道行政上は勿論廣く吾が大陸政策上より見て現下最も必要の施設である、今日滿鮮に於ける帝國の兩鐵道が、各異なつた管理の下に立ち相同じからざる營業方針を以て其の經營を續けて行くと云ふ事は、その點から考へても大勢に反してゐる、實に兩鐵道の合同統一は大勢である、其の統一の旨趣精神に就ては何人も議論を挾む餘地を見出さない、唯統一に伴ふべき效果の大小を論ずべき資料は今後の經營振如何にありと云はねばならぬ、今試に滿鐵の新組織を見ると、滿鐵は關東都督に統裁される、換言すれば、關東都督は滿鐵の主脳者たり、然るに鮮鐵の經營を行つて行く滿鐵京城管理局は朝鮮總督府の監督を受けねばならない、其邊統裁權と監督權の關係が可なり複雜するから、鮮鐵の經營としては今後の行り口如何に依ては或は遺憾を感ずるやうな場合が無いとは限らないだらう。

◆統一の二形式

此の鐵道の統一には二樣の方法がある、其一は國鐵たる鮮鐵の方に滿鐵を併合し全部を國營に於て經營することにて、其二は今回の如き形式による合同經營を云ふ、理に於ては帝國に於て國有鐵道の主義を執つて居る以上は滿鮮地方に於ても漸次其方針を執るのが至當の施設ならんと思はれる、乃ち帝國の鐵道政策より見れば政府で半官半民の滿鐵會社を相當の代價で買收し之れを國有鐵道たる鮮鐵に合せて經營すべきものである、尤も斯くするには支那の土に敷いた吾が鐵道を國有線に引直す事となるから、對外關係を顧慮しなくてはならぬが、今日の時勢は日露戰爭當時の明治三十九年頃と異なり、支那にも又列國にも多くの異論はあるまいと考へる。唯然し乍ら今日の統一が其の順道を辿らず幾分か變則的に成立したのは兩者實力の相違が原因となつたのである、今日の滿鐵と鮮鐵を比較すると其の規模に於て又收入に於て到底鮮鐵は滿鐵に及ばない、乃ち實力の小なるものが實力の大なるものに併せられたのである、之れは已むを得ない事であらうと思ふ。

東拓總裁　石塚英藏氏

◆新制と朝鮮開發

之れを朝鮮と云ふ立場より見ると、滿鐵の鮮鐵經營は少なくも從來總督府のやり來つたやうに又やるべき豫定であつたやうに進めて欲しい、尚一歩進めて希望を云へば、其れ以上に改良すべき事は改良し、伸すべき事業は伸して欲しい、滿鐵の手に移つたため、徒らに新線の建設とか既設線の改良とかが遲延するやうでは單なる精神に反し其の結果の可否が論ぜらるゝのみならず、實に吾が新領土たる朝鮮拓殖上の遺憾だからである、要するに今後の遣り方如何によつて併合の效果の大小を來すのであるから、合同の根本精神に鑑みて其の效果を完からしむる事を希望する次第である、總督府の新鐵道局長久保氏は久しく商工課長として運輸交通に關する研究と調査を十分に積んでゐる、其人物も確かで手腕も凡でない、恐らく最適任の局長であらう

大阪財界近信

▲米鐵輸出困難

二十六日紐育發一日當地某所入電によれば米國の輸出取締令施行の十五日以後今日に至る迄滿鐵輸出の許可せられたるものなく製造家より製品を鐵道に積込まんとするも鐵道局にて引受けず而して製品に對する代金は製造家に於て隨時請求し得可しと尤も輸出絶對に不可能には非ざるべきも當分は困難ならうと

▲板鐵相場白熱

鐵材市況は米國の輸入困難の爲め依然强調にて現品薄の爲め合へて狂騰相場を現はし板鐵一時八分の一物十三錢を最低とし乃至二十一錢[illegible]標準の交なり、鉄板の狂騰に伴ひて內地市場品も暴騰の步を辿り搗て加へて漸高の姿を示し殆ど無標準の如くなり鐵は比較的安値なるも尚四五分十五六圓見當にて先行別項の如く米國の輸出許可圓滑に行はれざるに於ては奈邊まで奔騰するか豫想する能はず

△冬織物愈開始

當地織物問屋にては一日より冬物荷開きを行ふこの事なるが本年冬織物は既報の如く夏物未曾有の好況の後を承け殆ど白熱相場を現はし居れり通は產地に於ける織置品の激減と各產地共八月中乃至九月中旬頃迄の先約定を抱き現品の出廻り悉無なるに搗て加へて集散市場の冬物は例年の半減にして既に大半取引を了りたれば產地同樣集散市場にも現品少く之が爲品により更に一割乃至二割高を示したるものある程なれば八月末より九月上旬に掛て需要の激增と供給不足と相俟つて更に熱狂相場を示すべく豫想せられ居れり（大阪支局）

忽再版　世界偉人逸話選　文部省普通學務局長　赤司鷹一郎先生序　文學士　齋藤文藏先生　文學士　樹下快淳先生共著　送料　發行所　東京小石川　長晝普及會

物品入札拂下
第一號　複式小割堅鋸機械（附屬品共）　壹臺
第二號　古金（銀鐵、銑鐵、真鍮の混合品）　約壹千六百貫
第三號　古水底線（直徑一吋四分ノ三吋）　約壹千百五拾五尺
右各號毎に八月二十日午前十時より開札ノ詳細ハ八月九日ノ朝鮮總督府官報ヲ見ラレ
大正六年八月
朝鮮總督府營林廠

夏秋蠶種發賣
京城府漢江通四番地　東蠶社種苗部

電氣化學科特設（夜間）
電氣學校
豫科講義錄完成
校外生（特殊の通信教授）　講習生（普通の通信教授）　隨時入學

本邦唯一の通俗的化學工業書出づ！
工學博士　中澤良夫先生閱　九州大學助手　島田慶一先生著
化學工業講話
附錄　最近の化學工業進步の現狀並其原因（四十五頁）　理學博士　田丸節郎先生
四六判布裝四百九十頁定價一圓六十錢郵稅八錢
東京神田　富山房

圖書分類目錄進呈
小石川京町　雜誌　聲　堂

革ズック製　ワングル製　製　旅行鞄
鞄なら製造元で御買下さい、安くて丈夫で體裁のよいのは弊店製品の特長ですよ
御好みに應じ何樣にも調製致します
革具、乘馬具、ズック製品防水布雨具、柳行李、バスケット魔法瓶
京城明治町二丁目四〇番地（電話一八三三番）　古賀喜營業部
京城明治町二丁目六六番地　古賀鞄製造部

鑛區買入
銅鐵鉛亜鉛鑛　鑛區買入致候
三友鑛業事務所
京城旭町一丁目　白上商店

山林果樹害蟲驅除劑　シーエス液
夜盗蟲及蝿類には
原液壹瓶　カタログ御申込次第進呈す
山田商店

朝鮮總督府遞信局
競爭入札　購買
詳細八月四日ノ本府官報ニ在リ

營林廠拂下
特種原木
製材の上又は原木の儘廉價賣却す
京城岡崎町　清水製材所

京城明治町　北方支店

眼鏡製作
米國製金張玉付
各種眼鏡
中村メガネヤ
電話千百十七番　振替京城三四六番

◎共樂社遊船部
▲青竹御小賣
富山竹材店

○對獨宣戰發表期

支那の對獨宣戰は六日發表さる可し(北京特電)

○馮氏の總統振り

新大總統馮國璋氏は萬事の處理を內閣に一任するの態度を執りつゝあるを以て國民は一般に滿足の意を表し澁滯せる諸般の政務も之れより進捗すべしと認められつゝあり(北京電報)

○在支獨墺人退去

對獨墺宣戰布告と共に支那を退去すべき獨墺兩國人は三百名に上るべく彼等は和蘭汽船にて瓜哇に送らるべし(北京特電)

○抑留敵國船處分

國交斷絕と共に上海、汕頭、廈門に抑留中の獨墺船十四隻(三二、八九噸)は宣戰布告と共に夫々處分せらるべきが此の外南京に二隻、廣東に一隻の獨墺砲艦あるも國交斷絕と共に自爆したりとの說あり(北京特電)

○兩師長任命發表

張作霖氏の二十師長及び孫烈臣氏の二十七師長任命發表せられたり(奉天特電)

○獨帝軍人會議召集

聯合軍攻擊を執れる爲めか

獨逸皇帝は軍人會議を召集せるが今回の會議には皇太子及び參謀總長ルーデンドルフ將軍參加する筈にて是れ恐らく西部戰場に於ける聯合軍が攻勢を執れる結果ならんと(桑港電報)

○佛國西部戰場豪雨

佛國西部戰場に四十八時間に亙る豪雨あり泥濘甚だしく敵味方共戰爭行動不可能にて砲兵戰のみ繼續し居れり(桑港電報)

○戰時利得稅提案準備

政府は戰時利得稅案を來る第四十議會に提出すべく目下調査を急ぎつゝあるが本案施行後に於ける收入は一千萬圓に上るべき見込なりと(東京電報)

○駐日大使任命承認

米國上院はローランド、エス、モーリス氏の駐日大使任命を承認せり(紐育電報)

○議事堂建築決定

政府は八箇年繼續事業の計畫を以て經費七百五十萬圓の豫算にて帝國議會議事堂を建築する事に決定せり(東京電報)

○土居通夫氏重態

有馬溫泉にて病氣靜養中の土居通夫氏は病革り重態に陷れり(大阪特電)

○白仁氏著任期

拓殖局長官白仁武氏は宮尾民政長官に事務引繼を了したる上來る廿四五日頃東京に著任す可し(東京電報)

○內田夫人南行

內田駐露大使夫人外從者一行五名は四日朝奉天通過京城に向へり(奉天特電)

◎滿洲中立地帶鑛山

(關東都督府調査)

[illegible]里の地域を指す者なるが該地帶に於ける鑛物に就き最近都督府の調査する處に據れば同地帶內に存在する[illegible]金は山金に比して集積大且つ其の採取法の容易なるに[illegible]すべしと雖も[illegible]

◎滿洲鹽鯖需要

大倉組上海支店が揚子江流域與地方に於ける鹽乾魚需要の極めて旺盛なるを看取し種々調査したる結果我北海道の特產物とも稱すべき鹽鯖の價格低廉にして加之も支那下層民の嗜好に適する事を認め數年前試驗的に輸入し其取引を開始したるに豫想以上支那商人の歡迎する處となり爾來逐年需要激增し一回に五六千噸以上の纏まりたる大輸入を爲すも猶需要者の意を滿たす能はざるの盛況を呈するに至り日支貿易品中侮るべからざる狀勢を示し來れるのみならず多大の利益を收めつゝあるが一方大連出張所に於ても滿洲鐵道沿線與地方が比較的魚類に不自由を感じつゝあるに著目し近年共輸入販賣を試みたるに之れ又豫想以上の好成績を示し本年の如きは約十四五萬圓の賣上げを見るに至れりと(大連)

◎陸軍異動發表

愈々五日發表に決定

既報の如く陸軍部內大異動發表期日に就ては種々の報傳はりしも更に確聞するところに依れば五日を以て發表され翌六日の官報に掲載さる可しと

◎商品擔保貸高

六月末日現計に依る商品擔保の鮮內銀行貸出高を聞くに總計六百七十九萬四千九百六十圓を示し其の內朝鮮產品に在りては倉庫業者の保管に係るもの百五十一萬七千二百六十圓現物保管に係るもの三百五十三萬五千七百五圓合計五百五萬二千九百六十五圓にして五月末に比すれば十八萬七千二百八十四圓を減せり、又た輸移入品に在りては倉庫業者の保管に係るもの百二十四萬二千五百五十六圓、現物保管に係るもの四十九萬九千四百三十九圓合計百七十四萬千九百九十五圓にして五月末に比すれば三十六萬五千二百四十三圓を增せり、尙ほ此の貸出總額を倉庫業者商品並に現物保管の兩種に區分すれば前者は二百一萬六千六百九十九圓にして五月末に比し十九萬五千四十二圓を增し後者は四百七十七萬八千二百六十一圓にして五月末に比し一萬七千八十三圓を減せり

觀瀾亭雜俎

蘇峰生

○廣翁と微伯との對峙は、恰も我が甲越兩雄の交鬪に類す。兩者の正々奇々、虛々實々の太刀打は、傍觀者をして、覺えず快哉を叫ばしむ。

○人或は曰く、廣翁は人間を解するも、個人を解せずと。彼が女皇に接する、唯だ一個の元首として然りしのみ。されば女皇は恒に紿へり、彼は朕を一個の制度として取扱へりと。されど廣翁は事實に於ては、舊式の保王家とも云ふ可かりし也。急進派の提出にかゝる、皇室費削減の動議に際して、斷然反對したるが如きは、僅かに其の一端に過ぎず。

○微伯は寧ろ女性として、女皇に奉仕せり。是れ彼が猶太人にして、且つ詭激、術奇の言動の爲めに、出身の當初に於て、女皇の不信用を招きたるに拘らず、遂ひに寵信一身に鍾りたる所以の一たらずんばあらず。

○微伯は自黨の年少者中にして、苟も嶄然頭角を露はすものある時には、之を識認し、之を獎勵し、之を大成せしむるに努めたりき。是れ彼が門下に、多士濟々たる所以也。チャアチル卿の如きも、微伯の推輓を被りたる、少小ならざりしが如し。

○チ卿一夕老伯を饗し、宴了りて、女等別室に退くや。チ卿は自から微伯に隣せるチ卿夫人の席を占め、更らに赤葡萄酒を侑む。微伯曰く、多謝、此の赤葡萄や、良とに佳品也、但だ持病の痛風の爲めに、過飮する能はざるを憾むと。客去りて夫妻相語る、卿曰く、老伯も吾家の赤葡萄酒には、餘程參りたりと覺ゆたりと。夫人曰く否々、彼は唯だ水とブランデーを飲みたる迄にて、赤葡萄酒には、遂ひに手を觸れざりし也と。此事小なりと雖も、微伯の權數と、其の辭令の妙とを見る可し。

◎慶北麻布狀況

慶北安東郡並に義城郡の洛東江沿岸は麻植栽の好產地として目され年々多額の生產を見たり而して是等の地方より織物として各地に搬出するもの又決して尠しとせず試みに大正五年度中安東郡に於て試作したるもの百六十五町七反步原料或は織物としての賣上高約六萬圓義城郡にありては丹村面にて織物千六百五十匹此の價額五千九百十圓を算せり要するに同地方は他郡に比し品質優良にして一般之れが植栽に努め居れば耕作法の如き頗る進步せるを見るも其の他麻布織出の方法即ち麻刈取後麻布原料となるべき剝取法は在來の方法即ち石蒸法にして而も原料を損ずる事往々あるのみならず剝取迄に要する費用多額なるを以て道當局は之が改良方法を講じて該業者に指導したるが成績最も良好なるを認め目下盛んに此の方法にて剝製に從事しつゝありと尙ほ兩郡產麻は本年に至りて京都大阪方面よりの注文を受けたるものあり右は日本內地に於ける奈良縣及び滋賀縣產のものに類似して品質良好なるが故に斯く內地の需要に應ずるを得べき次第なりと

◎鮮鐵七月成績

朝鮮總督府鐵道局として經營したる朝鮮鐵道最終の月に於ける營業成績は左記の如くなり營業哩數千六十六哩一分乘車人員四十五萬三千七十四人小手荷物斤數百五十三萬五千六百八十三斤貨物噸數十五萬九千四百五十噸客車收入四十四萬八千五十九圓貨車收入四十七萬七千三百七十五圓運輸收入九十一萬八千二百卅四圓一日一哩平均收入廿七圓七十八錢にして之を前年同月に比較する時は營業哩數五十九哩小手荷物三十一萬一千六百十九斤貨物三萬九千百九噸客車收入十二萬四千八百四十四圓貨車收入十四萬七千二百十五圓運輸收入二十七萬二千五十九圓一日一哩平均收入七圓七錢の增加なり

◎府稅徵收成績

京城府第二課に就き同府管內に於ける特別稅第一期徵收成績を聞くに其の調査總額九萬八千八百十七圓の內收入濟額七萬三千二百五十四圓にして此收入步合七割九分なるがこれを昨年同期(五年九月十日現在に於ける)收入步合六割八分に對比するときは一割一分の增收にして頗る好成績なるも猶內地各都市に比較するときは滯納者多く當局に於ても腐心考究中の由なれば遠からず具體的に成案を見るべきが其の內譯左の如し

科目	調定額	收入額	收入步合	五年九月十日現在收入步合
特別戶別稅	三六、〇四三	二三、六一三	〇、八二	〇、七一
營業稅	四八、七〇三	四〇、四九八	〇、八三	〇、七二
雜種稅	一四、〇七一	九、一四三	〇、六五	〇、四九
計	九八、八一七	七三、二五四	〇、七九	〇、六八

◎內地行勞働者

本年一月より去る六月に至る半期間に於て北海道石狩炭鑛、兵庫縣福島紡績、大阪製鐵工場、攝津紡績、愛知縣の豐橋製絲、福岡縣の王島紡績、福岡縣の神代炭坑、大阪の硝子製造所、北海道美唄炭鑛山、大里硝子製造、福岡の山田炭鑛等に雇傭され釜山通過內地に渡航せしもの既に男女合せて約千四百人の多きに達したりと是れを道別に示せば

道別	男	女	計
慶尙南道	六六三	二七〇	九三三
平安南道	三一六		三一六
全羅南北道	一一七	六	一二三

而して彼れ等の年齡は何れも滿十八歲以上四十五年以下なるが少年者は滿十四歲以上に限り採用する方針なりと云へば尙ほ今後も續々渡日すべしと云ふ

◎朝郵改正運賃實施

朝鮮郵船會社にては元山浦鹽線仁川芝罘線及び元山長箭間の旅客運賃を左の如く改正愈々五日より實施することゝなりたり

△元山浦鹽間 一等十五圓六十錢△二等十圓八十錢△三等六圓

△元山淸津間 一等九圓十錢△二等六圓三十錢△三等三圓五十錢

△元山城津間 一等六圓五十錢△二等四圓五十錢△三等二圓五十錢

△元山雄基間 一等十一圓十錢△二等七圓七十錢△三等四圓三十錢

△仁川芝罘間 一等十四圓五十錢△二等十圓△三等五圓五十錢

△仁川青島間 一等二十六圓△二等十八圓△三等十圓

△仁川大連間 一等十五圓五十錢△二等十一圓△三等六圓

△元山長箭間往復(旅客手荷物に對する貸金を含む)二等四圓六十錢△三等三圓

◎東淸線制限撤廢

從來東淸線行連絡貨物は哈爾賓以西寬城子間に對しては發送を中止し來りたるが客月二十八日より滿洲里を除くの他は各連絡驛(即ち東西南部各線共)總て連絡貨物發送差支なきこととなりたり

◎露貨僅に持直す

過日長春相場二百九十九留に下落せる露貨は將に三百留に突破せんとせしも其後僅に引返し昨日相場は哈爾賓は二百八十八長春二百七十九留を示し外國相場は倫敦の二百三十一留紐育は百二十一留より二十一弗二十五錢となりし多少の持直しを示せり

◎移民審査開始

東洋拓殖會社にては第一回移民募集申込者[illegible]は目今[illegible]なるが[illegible]審査を近く開始する由にて夫々殖民課にて手配を進め居れり

◎木浦先月貿易

木浦稅關支署の調査による七月中の同港貿易額は輸移出三十萬四千三百八十九圓輸移入二十一萬八千九百二十六圓計五十二萬三千三百十五圓にして之を前年同期に比すれば輸移出に於て二十六萬九千八百餘圓を輸移入に於て十萬九千二百餘圓の何れも激增なり今其重なる品名金額を擧ぐれば輸移出は米の三萬二千二百七十圓、[illegible]六千八百圓綿[illegible]十三萬九千八百五十六圓海草五萬五百圓等にして輸移入は外米一萬三千圓[illegible]二千圓[illegible]四千二百圓ビール[illegible]百圓綿系[illegible]圓金巾四萬五千四百圓セメント[illegible]圓枕木二萬二千圓等なりと

◎仁川芝罘航路復舊

朝鮮郵船會社にては船腹不足の爲め本年四月以降仁川芝罘間の航路を中止中の處今回船繰の都合をつけ本月一日より同航路を復舊し從前の如く營業を開始せり

◎平南作物被害

去月霖雨の際河水氾濫の爲め平南道管內に於て農作物の被害甚しかりしは順川郡の九面並に德川郡一面なるが中にも德川郡の如きは被害面積水陸稻其他雜穀類の作付反別六千七百二十四町步被害見積額一萬三千七百十九圓に上れる由にて郡當局にては夫々調査を遂げ全然收穫の見込なき部分には蕎麥若くは蔬菜等を播種せしめ其他は培土等の方法に依り倒伏より復起せしめつゝありといふ

◎全北輕鐵檢量規程

全北輕便鐵道會社にては今回特種貨物に對し滿鐵會社京城管理局線と同樣の檢量規程を制定し客月二十九日より實施しつゝありと

◎不動產登記令實施

八月十日より左記各道各郡に不動產登記令を實施し土地臺帳規則により土地に關する事務を取扱ふ由

△全北 任實郡 △全南 靈巖、長城、咸平、務安、高興、珍島、康津、潭陽、靈光、海南 △黃海 金川、延白、安岳 △平南 寧邊、孟山 △江原 春川

◎京畿隊署長會議

京畿道管內憲兵隊長警察署長會議は去る六月中京城に召集の筈なりしも隈部氏の轉任其他の都合にて今日迄其儘となり居れるが新任鹽澤大佐は來る七日夜著任すべきに依り著任早々右隊署長會議を開催すべく而して會議終了後引續き管內の巡檢を行ふ可しと傳へらる

◎韓氏營農計畫

京城漢城銀行頭取韓相龍氏は滿洲各地に多數散在する鮮農指導の爲め模範的一大水田を經營するの計畫を樹て徐氏を奉天に派遣し目下種々調査中なるが其結果前途頗る有望の事業たる見込みつきたりと云へば右計畫は遠からず實現するに至るべしと(奉天)

◎渡邊博士視察

京都帝國大學助敎授工學博士渡邊俊雄氏は[illegible]タングステン鑛山視察に赴きたるが六日頃入京の筈

◎馬晋自動車中止

馬山晋州間自動車の運轉は從來二臺を以て交互に每日一回往復し居りしが六月[illegible]より[illegible]一臺を[illegible]其他の一臺も[illegible]使用に堪へざるに至り[illegible]運轉を中止すべしと

人事消息

△[illegible]
△鹿兒島商業學校長[illegible]
△京城ホテルへ
△滋賀縣八幡商業學校長[illegible]
△帶刀大吉氏(大倉組員) 四日夜入京天眞樓へ
△田中久太郎氏(鐵山業) 四日夜京定州へ
△藤川利三郎氏(平北道長官) 五日朝入京浦尾へ

南言北語

馮國璋君も當々大總統になつた△之れは既定の事を既定通りに實現した譯だから當然である△馮君が副總統に選ばれたのは丁度去年の十月三十日で五百二十一票と云ふ多數で萬歲裡に就任した△當時支那の新聞の多くは何れも祝意を表して此の老功者を副總統に得たるを喜び△現大總統黎公は溫和仁慈にして惡魔の妖誣に堪へ難し△此の時に馮氏副總統の任に就き正義を保持し邪妖を肅淸し△政府に對し公明磊落の指導を爲し共和の軌道を步ましむる事を希望すと頗る人氣が好かつた△なる程黎君は一年になるかならぬに張勳に酷い目に遭されたのである△大總統としての馮君は十個月にして大總統の位置を得たのであるが人氣は依然好いらしい△此頃の支那新聞に當世の手腕は之れからだ△群雄を博觀するに東方に出て西方の華盛頓と後先相耀する者一人あり△其の人を誰とかなす則ち河間の馮公其の人と大書して居る△其の理由に曰く華盛頓や吉治能く奇偉磊落なる所以の者は嚴正眞肅より來る△馮公の言論行事奇偉磊落華盛頓と差を以て異るなきは△其宅心の公允誠德則ち亦彼の華盛頓の嚴正眞肅なるが如きを故なりとある△前には袁世凱君の功德は今世の華盛頓なりと明に公德表を上つた新聞もあつたが△今度も亦華盛頓が出た譯だ△地下の華盛頓之れを聞かば何と云ふだらう△此の次にロベスピエールやマラーやダントン等が南方から飛び出すと愈々事だ

◎古手

今回の調査に依れば[illegible](大阪の成[illegible]所の如くして望を[illegible])[illegible]

[illegible]內地では赤痢流行の兆[illegible]て豫てより飲食物の取締り勵行中[illegible]京飲料水、果實類等に[illegible]るもの三十一戶あり其の他[illegible]投棄すべき容器を設置する樣命じた

◎誑送金で遊興

長崎縣對馬國嚴原町生れ京義線汗浦驛前居住の土木業小田泰次郎(三〇)は五月三十日[illegible]件の金員を橫領するに至り進退谷り[illegible]て自首し[illegible]の程京城地方法院に懲[illegible]四箇月[illegible]となれり

最上醬油
鶴
風味本位 品質佳良
京城府元町二丁目
關西醬油釀造所
電話三九番 振替京城七三九番

內科 小兒科 婦人科 眼科
一元堂醫院
京城南山町二ノ四六(三越合名店上)
電話一一三二四番
小山亨

玩具卸商 織田東洋館
薄利多賣出荷迅速は弊店の特色
京城本町一丁目
電話一一六九八番 振替京城一五九六七番

滿鮮鐵道の統一
淸華亭
京城黃金町三丁目
電話八一五番

安全で酒頓で頗の利ひた八方向中元御贈答品
ニンジンブドウシュ 參精葡萄酒 朝鮮特產薬用人參配合
朝鮮特產藥用人參配合 參精生葡萄酒 ニンジンブドウシュ

開院披露
◇內科(消化器病)
◇小兒科
◇外科(內臟外科)
◇婦人科
◇皮膚花柳病科
入院隨意
院長醫學士 齊
副院長醫師 竹葉善松
其他各專門醫
京城本町五丁目稲荷座前元花岡氏宅
大和病院
電話二〇一二番

宿泊人名簿(一冊百枚送料共 四十五錢)
京城明治町[illegible] 瀨川[illegible]

[illegible]中立地帯[illegible]
平河口より[illegible]平峠嵜の市街を經て東
大洋河の上流紫家堡子に至り南は關
東州と界を接する面積約八百六十方
[illegible]床は金鑛に類するもの多く[illegible]内最
注目に値するものは砂金なりとす從
つて砂金として採取せらるゝものは
山金のそれよりも遙かに多し蓋し砂
[illegible]燃料を缺[illegible]ありては大規模の設計[illegible]
之に深大なる顧慮を拂はざる可から
ず山金に於ては鑛[illegible]石英脈なるが
[illegible]しとす[illegible]其地勢一帯に[illegible]
[illegible]する場合[illegible]と水成[illegible]場合多[illegible]背せる片[illegible]

新任大總統馮國璋氏並に第一夫人

◉八面玲瓏の新大總統

殖産興業にも却々熱心　家庭には第三夫人まである

黎元洪氏の辭退から今度代つて大總統に就任した馮國璋氏のことについて某支那通は語つて曰く、馮氏は直隷省河南府の出身で年は

▽五十を越し　たばかり中肉中脊の今が一番の働き盛りである第一革命の時は武昌を陷れ第二革命の際には南京を居つて赫々たる武勲を樹てた人であるが、單に武人としてのみならず頗る

▽政治的手腕　に於ても優れて居る、袁世凱氏の總統時代から南京にあつて今日迄江蘇省の人民に非常の人望を得て居るのは氏の手腕の凡庸でない事を證明して居る、人物は極めて圓滿な八方美人的の紳士で支那南北の人々から

▽大いに愛好　されて居る　されば氏は大總統に就任しても十分に其の手腕を振ひ却つて支那多數の人々から信任を受けるであらう、實際又今日のやうな時局に際しては氏の如き溫厚な人物を總統の椅子に据ゑた方が内にも外にも餘つ程都合が好いかも知れぬ、尙ほ氏が普通の支那人に比して

▽一隻眼を具　して居る事は支那百年の大計を樹て國民を救治するには其の廣大な土地を利用して殖産興業を盛んにするに限ると云ふ點に注目し農民の保護發達を圖り百方之を奬勵すると同時に先年は

▽我農商務省　から苗木を多數に買入れ無代で之を省内の農民に分與し自らも之を植林して奬勵した事もある、却々細かい處にも氣が付く又常に大局にも注意して居る今度大總統に就任したにしても自身は何時も

▽大局を統べ　大概の政務は政府に任かせるだらうから段祺瑞氏との間も案外圓滿に往くかも知れない、氏の家庭には正夫人を始め第三夫人迄あつたと覺えて居る、馮氏が副總統に就任した際南京在留の日本人が其の祝賀招待會を開いた時に第一夫人も列席したが頗る

▽如才のない　社交的な夫人であつた、それは兎も角何んと云つても馮氏は現代支那政界の大立物で黎氏が辭任した以上お鉢が廻つて來るのは當然の事と云はねばならぬ

◉東海道大暴風

富士登山禁止

三日朝來より東海道筋一帶に暴風雨あり家屋の吹き倒されたるものあり富士登山は危險につき警察署より禁止されたり（東京特電）

◉鄭家屯の大水害

光景慘澹を極む

鄭家屯の水害は意想外に甚だしく其の光景慘澹を極め居るを以て同地日本人會にては五個所に於て炊出しをなし毎日三千五百餘名を救助し居れるが經費多大なるより奉天に寄附金募集方を依賴し來れり（奉天特電）

◉京釜荒しの大賊

懲役三年の處分となる　茨城縣生れ新潟縣中頸城郡津居村前科二犯坂田義一（三）が本年五六月中釜山にて十四箇所を荒したる末京城に流れ込み古市町十四番地裏手に一家を構へ市内九箇所より錠前を破りて五百二十餘圓の金品を竊取したる所を本町警察署に逮捕され京城地方法院に送られたるが此の程同人は懲役三年の處分となれり

◉隅田川の増水

深川區内浸水家屋夥し

四日横濱に入港すべき日南丸、廣東丸其他三隻は激浪の爲め入港する能はず又隅田川増水に加へて滿潮に際し風吹き荒みしより四日午前四時深川區内に浸水家屋多し（東京特電）

◉就職難から發狂

親子五名餓ゑて泣く

宮城縣志田郡松山町生れの木内庄吉（四三）は以前巡査を奉職したるも事情ありて退職し京城大和町三丁目に居住し在職中辛苦して蓄め上げたる三百圓許りを朝鮮人に高利貸付けを爲さんとして仲介の鮮人に持逃げされたる爲め忽ち零落し剩さへ家族は妻さわ（三）との間に虎男（一）を頭に光男（一）と辰生（二）の四兒あり庄吉は懸命に就職口を探したるも何等の得る所もなく辛くも長男虎男が給仕を勤め月六圓許りの收入にて一家六名細き煙を立て居る内庄吉は何時しか「職が無い」とあらぬことを口走りて遂に發狂氣味となりたるより妻さわは泣く／＼其の旨本町警察署に願ひ出で貧困證明を受けて七月二十日頃發狂したる夫を總督府醫院の精神病科に入院せしめ目下加療中なるが一方家族は殆ど絶食の態にて本籍地に歸還せんにも旅費もなく全く途方に暮れ居れりと

◉不正漁夫檢擧

長崎縣東彼杵郡川棚村生れ田崎道太郎は全南莞島郡青山面に於て雜貨魚仲買商を營み居るものにして住所不定の山崎松治なるものと共謀し本年五月八九の兩日長崎縣西彼杵郡[illegible]島沿岸に於て發動機船惠比壽丸及び漁船四隻を以て一團となしダイナマイトを使用し鰤四百七十餘圓を採捕し前記山崎と共謀し不正漁業の目的を以て莞島郡に來り陸上にては雜貨商を營み山崎は專ら漁業に從事し本年六月十日山崎に金十六圓及び白米二俵其他の日用品を貸與し山崎は之を積載し漁夫六名を二隻の漁船に分乘せしめ六月二十日以降甫山島附近にて爆發物を使用し不正漁業中を此の程湖南警察署に檢擧されしが共犯者なる山口縣生れ山崎松治（三）は逃走中にて福岡縣生れ神谷庄右衛門（三）愛媛縣生れ年道八歳（四）等は逮捕されしが尙六名の共犯人は目下嚴重捜査中

◉銀行員の溺死

不熟練なる水泳から

四日午後三時頃漢湖農工銀行員十五六名は銀行の退けるを待つて龍山に赴き漢江にて舟遊會を催したるが折柄の暑熱に水泳をなすもの多かりし處一行中の同行預金係市内若草町五十三番地原籍長野市關内八十番地馬場健一（二）も不熟練乍ら共に水中に入りて游泳中行衛不明となりしを午後七時漸く一同が氣付て大騷ぎとなり投網船柁を雇ひて邊りを隈なく捜索せし所午後八時頃龍山居住八幡吉次郎なる者の網に懸り漸く屍體を引揚けたるが既に死後一時間近く經過せし事とて蘇生せず折柄當總監部附醫師及び軍醫連の舟遊會ありしを以て多數の醫師にて手當を加へしも其の甲斐なく屍體は龍山憲兵分隊にて檢視の上遺族に引渡したり

◉自轉車に衝突

京城南大門通五丁目居住木戸繁藏妻せい（四三）が三日午後五時半頃南大門通五丁目御成座入口前の路上を通行中疾走し來れる明治町一丁目山部清吉（二）の自轉車に衝突して仰向けに倒され後頭部を打ちたる騷ぎにせいを南大門[illegible]院に擔ぎ込み應急手當を[illegible]治迄に十日間を要す[illegible]部より支給して[illegible]

◉消防隊水泳練習

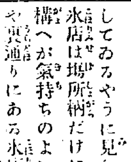
京城[illegible]消防隊は四日午後一時より四時まで向ふ十日間麻浦[illegible]に於て水泳練習を開始せり

◉南齊の百箇會

五日午前八時より南山町花月に於て南齊氏の百箇會開催の由

◉慰勞宴へ寄贈

昨日開催[illegible]東宮[illegible]慰勞宴に對し大日本麥酒會社よりビール[illegible]サイダー[illegible]木村[illegible]より[illegible]を贈り込みありたる由

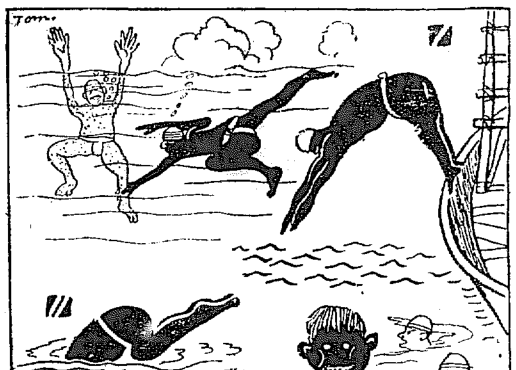


△暑さが酷しいのに毎夜黄金遊園は[illegible]らしい人出がある、この細香の中を[illegible]や小泥棒が巧みに出沒するので油斷が出來ない△黄金遊園附近の人道は電車線路に沿うて大勢の鮮人が居並び夜更けるまで涼んで居る、電車で通ると其の白衣の行列が[illegible]のやうに見える△本町通りの氷店は場所柄だけに[illegible]涼しい店が多いが氣持ちのよい程明るいが場末通りにある氷店は薄暗い處で心地惡るく見ゆる

▽水泳場通信　1

西氷庫の川中で中學生と一緒になつて＝炒り立ての胡麻鹽のやうに熱く燒けた砂＝印度人のやうな岡村先生＝蛙の群れが逃げ出すやうな飛込みの練習

◆私は今、柔かきのトンミー君と一緒に、京城附近の唯一の水泳場だといふ漢江鐵橋上流の西氷庫にきてゐます。西氷庫――と文字だけをみますと餘ッ程涼しいところのやうに思へますが、さて實地に來てみるとやけに暑いところでした。◆烈しい夏の陽が、朝から晩まで、川原一面に照りつけるために、白金のやうにチカ／＼と光かる川砂は、炒りたての胡麻鹽かなにかのやうに灼けきつて、停車場から一丁餘りの道を往く間、ザク／＼と砂を踏む靴の底を通して足の裏が火傷をしさうになつてくるのには驚きました。◆こいつは堪らんと著物を脱ぐなり中學校の水泳場に躍り込みました。そして五百羅漢が裸になつて飛び出して來たやうな、中學生諸君と一緒になつて成るべく淺いところを選んで泳ぎながら飛び込み構のある親船に辿りついて機械體操のやうに足掛けでもやるやうに躍り上りました。◆船の舳には印度人と間違へさうな水泳教師の岡村氏が腕組みをしながら立てゐました。思ひきつて強い光線を放射する午後二時過ぎの太陽に縮つくやうに黒い身體を曝して平氣でゐるのが痛快でした。



西氷庫の水泳練習

◆此の飛込船を取り巻いて大河童、小河童が、ワア／＼言ひながら泳ぎ廻つたり、水面を叩いて水合戰をしたり、いづれも頗る元氣です。岡村先生は甲羅を干してる正覺坊が水に浸りにゆくやうなつもりで、時々自分で身を躍らして飛び込んでは、並居る小河童連に、飛び込みの呼吸、潛り方などを敎へます。◆それを船の上から見てゐると岡村氏について、船の人に黒い尻を向けながらドブン／＼と飛び込む時の恰好が丁度堤の上から慌てて川の中に逃げ込む蛙のやうに見えます。そして飛び込んだ拍子に魚形水雷のやうな勢ひで水中滑走をしながら思はず附近を游弋してゐる小軍艦の胴ッ腹や足に頭を打突けて物議を釀す事もあります。◆それでも双方極めて平氣なもので『ヤア失敬』位の所で泳いでゐる間に、亦、あとから飛び込んで來た者の襲撃に遭つて逃げ出す者もあります（西氷庫より△△）

てんかん　ヒキツケ
困難の方切手三錢送れ永年の病も自宅でなほす最良の藥
名古屋市中區南小田町　救生館

京城　B.TAKIKAWA. HIOGO JAPAN.
京城本町[illegible]　森久本店

京日案内

安心の種物店　[illegible]　371
鑛物定量分析　坂元分析所　太平町二丁目　電話長三五四　322
京城春川間自働車　春川　松田壽男　360
店員入用　十四五歳より十六七歳まで　本人來談あれ　京城本町[illegible]　松菊屋　363
募集　店員　身體強健にして業に經驗ある者十五六歳より廿五歳迄　履歷書を添へ本人來談　京城春川[illegible]大和屋呉服店　田中定吉
至急入用　看護婦見習二名　看護婦五名　京城本町五（稻荷座前）電話一〇一二　大和病院　376
古鐵　金物　機械買入　天野金治郎　京城旭町一〇七　377
年金　四年　江州屋本店　京城永樂町　378
魔法瓶　中瓶取替　京城本町一丁目　高木旅行用具店　電話一三四番　379
支那翡翠玉石美術　製品　本町二丁目七十三番地　玉興福商店　380

鮮滿鐵道の統一　京城大和町　大倉組出張所　電話二[illegible]四番
鮮滿鐵道の統一　京城明治町一丁目　京城魚市場　電話一四七八番
鮮滿鐵道の統一　石炭商　京城西小門町（電話七二七番）　西崎商會　南大門通一丁目　西小門驛構内　西崎支店
鮮滿鐵道の統一　京城黄金町二丁目　日清生命保險株式會社朝鮮出張所　長　電話一四九六番
鮮滿鐵道の統一　京城黄金町二丁目　太平生命保險株式會社京城支部　電話一四〇二番　振替口座京城一〇〇五番
鮮滿鐵道の統一　京城府黄金町百九十四番地　明治公債株式會社朝鮮支部　電話一九〇八番　振替口座京城二五五番　支部長　保本森之助
鮮滿鐵道の統一　◎化學工業用藥品　◎鑛山用品器具　◎ネオ　ネオ　アーセミン　代理店　京城明治町二丁目　嶋久商店　電話7四四四番
鮮滿鐵道の統一　會席　御料理　京城旭町一丁目　千代本　電話二七七九五番
鮮滿鐵道の統一　會席　御料理　京城旭町一丁目　鳥丸　電話一五〇二番

花匠 (七四)

松田竹の島人作

早見は少しも包み隠すところがなく、本郷金助町の荒物屋の二階を借りて、自炊してゐたが、部屋代が拂へなかッたから、主人から厳しい催促を受けたこと、續いて其荒物屋の主人は、田淵勉が知り合ひであったことから、田淵に二十圓貰つて、此山の内へ來た迄の經過を語つた。

『貴方は彼の田淵を非歴心の人と思つてゐらッしやるんですか？』

『田淵とは書生時代に、一緒に御父の處に居りましたから、彼れの人と爲りは能く知つてる積です。忌憚なきところを申せば、奸智に長けた男とでも申すのでせう』

己の爲めにすることがあつて、私を寄來したかも知れません、私の方では、お琴に市野君の妾であることを思ひ止まらせるのは、今申上げた通り、市野家の家庭の平和の爲めに可いことゝ思ひましたから、利用されると知りつゝ遣つて來た譯です』

『毎も驚らせ、貴方は御親切でゐらッしやいますわね。』と京子は、早見の眞心に泌々と感じて、

『既證の爲めに、會社の金を御使ひ込みに成るやうな貴方ぢやないこと、妾は信じて居ますが、何故貴方は會社の金を御費消ひに爲つて、其儘行方を晦してお了ひ爲つたのです。』

『然う知つてゐらッして、何故彼の人からお金を御貰ひに爲つたのです？』

京子は、早見が田淵の人と爲りを知つてゐる癖に、金を貰つて來たことが不審でならなかつた。

『今御話した通り、一夜を明かすに困りましたから、餘儀なく田淵の家に泊めて貰ひましたが、彼れの言ふところの、お琴に市野君の妾であることを思ひ止まらせるのは、市野家の家庭の平和を圖る爲めに、至極可いことゝ思つたからです』

『けれども田淵は、市野の家庭の平和を圖るなんて、實意のある人ぢやないと思ひますわ。妾が考へますには、貴方に二十圓上げて、此山の内へ來て戴いたのは、外に何にか爲めにすることがあつてだらうと思ひますわ。』

『田淵が奸智に長けてゐて、縱令自

訊かれて早見は、沈痛な態度で、

『今から考へると、旨く田淵の罠に引ツかゝッたのですね。』

『罠と申しますと？』

『今に成つて、其の事を御話しするのは、愚痴を零すやうでもあり、自分の失迦を言ふやうですが、實は恁うです。』と早見が語り出したのは、今から二年前、自分が日本鑛産株式會社の營業課長であつた時、遂お琴の春子に迷ひ、宇宙天に成つて、殆んど毎晩のやうに、赤阪へ通つた。酒色の爲めに費消する金は、幾らあつても決して足りるものではない。だから自分の手許の困窮り方は、一と通りではなかつた。其年を越すには、什麼しても三百圓の金が要つたから、何處かで其金を借りやうと、諸所を借り歩行いたが、年の暮の押詰つた二十九日だから、迚も出來ることではなかつた。切迫詰つて餘儀なく、田淵に相談すると、其時田淵は、會社の會計課長が病氣缺勤の爲めに代理を爲てゐたが、今手許に金がないから、會社の金を五百圓貸さう、それで一時の急場を凌いで置け、然うすると、日たらず自分の手へ五百圓入る的があるから、其金で會社の方は埋めて置くと、親切な言葉であつたので、自分は會社の金を五百圓借りたといふ證書を田淵へ入れて、そして五百圓を借りた。

帶 半襟 帶あげ 帶しめ 片側帶
ゑり治 京城旭町一丁目 商店 電話一五六番

年期刺繡弟子十五名募集

商況

大阪期米特電

寄附	二〇、六八	二〇、八四	二〇、六七
高値	二〇、五〇	二〇、八八	二〇、七八
安値	二〇、三六	二〇、七三	二〇、六三
止め	二〇、五〇	二〇、八八	二〇、七八

仁川期米

▲俄然跳ね返す

も別段影響なく…[illegible]…の折柄大阪五錢中三十一錢半…四錢と臨時暴騰…入電に買物多く遂に十九圓〇二錢と上伸し十九圓丁度と大暴騰裡に強硬の成行を示して散會…

りたるも大阪の暴騰を受けて十九圓臺に…るに至つた…

▲底入…

…け…十九圓一錢…仲し…暴騰の…たり…今朝の…値を現出するや…より…一層…人氣…

…に如何なる…るも久しく…一層の大雨…日…の天候及…

九圓〆一錢十…四日の十月限…後(寄付)十八圓八十五…(止メ)十九圓丁…

▲横暴な雇人 …(…)は京城…

日報俳壇

夕顔

夕顔や大雨の中に出火ある　山民

夕顔に月の傾く庇かな　海雲亭

夏野

網の夾を草喰ふ牛や夏野原　山民

噴井ある夏野の中の一軒家　晩花

日照草

水を汲む井戸側高し日照草　山民

夕立

駅馬次ぎ渡る土橋や夕立晴　氣水

蓮

蓮の葉を翻す風に門高き　董水

日盛

田廣々と草採る唄や日の盛　秋雨

清水

踏査疲れ憩ふ溪間や苔清水　六石

草刈の鎌研ぎに來る清水哉　小嵐山

夏の月

廿諸の蔓返す人語や夏の月　氣水

町を転らす給水車や夏の月　秋雨

馬糧冷ます背戸の流れや夏の月　紫水

涼し

電車通は水道抜く朝の清涼し　董水

花樗

逃したる繡眼兒來鳴くや花樗　紫水

組に光る鱗や花樗　大梅

裸

袈の疲れを庭木の風に裸哉　養亟

芭蕉の月に稼冷かなる裸哉　同

薫風

宮抽く亭の四隅や風薫る　六駿

薫風や草に親しむ讀書人　同山

薫風や疎林を出て礒傳ひ　隈同

薫風に蹉帆擧げし筏かな　同

鳴り止る書肪の鈴や風薫る　芸窓

○對坐吟

―六七・一五―於星二樓―

蟬時雨

降り出して止めば庭の蟬時雨　玄對

口喧しき老婆に聞くや蟬しぐれ　同

[illegible]蟬舞ひ出でぬ朝の風　同

小園蟬が這ランプに來て鳴けて去りぬ　同

蟬のかゝれる蜘蛛の巢は昨日なかりし　同

庭の撮影蟬啼く下にて　同

法論ら歸す仰世に蟬鳴きて　同

凉風は今校風に蟬凉し　同

歐史讀む撃破の卷や蟬時雨　同

車重きひた押しに蟬鳴くなり　同

雄鷹さんく桐の木の蟬見る　同

新刊紹介

▲天眼通(村上浪六氏著)　浪六氏一流の小說は人情の機微を穿ち浮世の甘い辛いを嚙んで含める樣に而かも面白く書き流したる點に於て若い文士の企て及ばざる妙味あり、世間若し落語の古いクスグリに倦き、講談本の一本調子に飽き玉ふ御方は、浪六氏の小說み讀まれげ(一冊定價一圓…東京…)

▲納本稗史小說(一)　昔の草双紙を翻刻して讀み好くしたるものにて第一集には三國妖婦傳…を插繪までそのまゝに翻刻したるものなり、四百何十頁の…一圓廿錢、東京日本橋本石町三至誠堂)

▲投入盛花寫眞圖說(近藤正一氏著)　生け花の挿し方に規矩を設けず、唯自然にムザと花瓶にいける式を作つさして、花の姿に一定の形を投入れさ申します…た花の姿が面白くそして趣味に富むこと、故に如何にして面白く趣味に富む樣生くるかといふ事に就て詳說したるものなり(一圓廿錢、東京牛込神樂町一の一東學堂書房)

▲朝野公論(八月號)　最近の米露關係と日本(長瀨…)外交…の新使命(牧山耕藏)牧師と政…人…氏)…の大隈經營論(諸名家意見)…の化學工業(今津技師)人物論(有馬賴寧…名士數十氏論)其他石森、板橋其他諸氏の執筆に成る多種趣味多方面の記事豐富なり(一部二十五錢京城太平町其社)

▲角力世界(六月…)　…十日の興行を十一日十二日見たい者は…此の雜誌の讀者となるを要す(一部十五錢、東京…一…發行所)

▲我が家(一の六)　…家庭人…の…行に供するの一冊…(一…東京…)

▲青年雄辯(八月號)　…面白き雜誌にして名士の執筆に成る有益なる記事豐富にしてドキこなく編輯に親切な所あり(一部二十錢、東京牛込矢來町一其編輯局)

▲『長編講談』一休禪師、家僧文覺　是も博文館の新案に成る優れたる安い本の一部なりドンな講談を早く讀む人でも一日では迚も讀み切れぬ位といふ讀ごたへのある本なり(一冊三十錢東京本町博文館)

▲一橋叢話(清水照代一氏著)　東京高等商業學校生徒の狀態より若者の理想を發したるもの寸表紙にして面白き小品多し(東京牛込神樂町一の一東亞堂書房)

読者の領分

交通遮斷をやつて居る其のスグ上の方に交番所があるが彼の交番所はスグ下の通りは管轄外だと見ゐて如何に往來妨害があつても警官は知らぬ顔をして居る噌言と思へば監督部長さん行つて御覽なさい(天下泰平生)▲モシ〳〵近來ひやし水を飲食用としてお客に出して居る氷屋が澤山ありますよ(下痢生)▲水道攻擊の高地に居住せば夜中生れに申す君等は高地に居住せば夜中なりと遠く滋島水源地を見給へ彼の黑々たる姫の日夜絕ゆる見ても勝手な理屈は言はれない道理です父母の内厥時間の給水など言はれるが若し水道を高地迄引かんものなら施から朝鮮人に汚い水を高く買はなければなるまい其遊を考へたらグゥの音も云はれた義理ぢやなからう少しは同情もしてやり給へ(水道係同情生)▲過日黃金町一丁目電車停留所にて午前五時頃に一人の老母と一人の娘とが通行中本町の某吳服店員が無法にも自轉車にて引倒し其儘過ぎんとせるを折柄電車を待合せし當年が直に其店員を引きとらへて激く其不法を叱責して老母をいたわり歸途につかしめたる事を路傍で見て居た僕は實に其の青年の行動に關し其の青年の跡を慕ひて彼れの附近にて日頃の性格を聞いて感心しました(一官吏)

南米倉町朝市場の上の方へ倉庫が出來何時も荷馬車が四五臺通りに梶棒を止めて…

最新刊

●鐵道會計 佐藤… 二、五〇
●最近支那貿易 … 二、五〇
●修辭法講話 佐々… 一、二〇
●策商 岡本米藏 一、〇〇
●新評韓非子 野中元三郎 九〇
●絡本稗史小說第一集 … 三八
●女子護身法及護身術 … 一、〇五
・園藝三十六花選 田村… 一、〇〇
●天然生活法 … 八五
●安價生活法 同 八五
黑柳勳著
ペン手紙と葉書の書方 定價八五
●山國の怪 … 七五
●名物鳥啼く里 … 五〇
●道 … 八五
●…小學教師 … 五〇
●新商家庭實用料理法 … 一、五〇
●…定石新法 … 六〇
●園藝智識此の一手 … 六〇
●新撰圍碁全集 … 一、三〇
●中學校師範學校女學校入學準備者の爲め … 三〇

大阪屋號書店 京城本町一 電話六〇…

釜山商店案内

内外雜貨 鍋釜金物 サンフ…ビール 油石 卸 近藤商店 釜山本町三丁目 電話長七六八番

内外雜貨卸問屋 長岡商店 …電話八三一番

内外雜貨 卸問屋 近江屋支店 釜山本町二丁目 電話八〇二番 振替京城一一三七番

内外雜貨問屋 明治屋本店 …

洋酒 罐詰 卸商 釜山長手通 あづまや商店 振替京城三九番

卸問屋 洋菓子洋酒 食料品 英米直輸入 東京三河屋 滿鮮代理店 商報發行 釜山幸町 ミトヤ商店 MITOYA.CO

天下一品 猪印のみとり粉 金牌受領

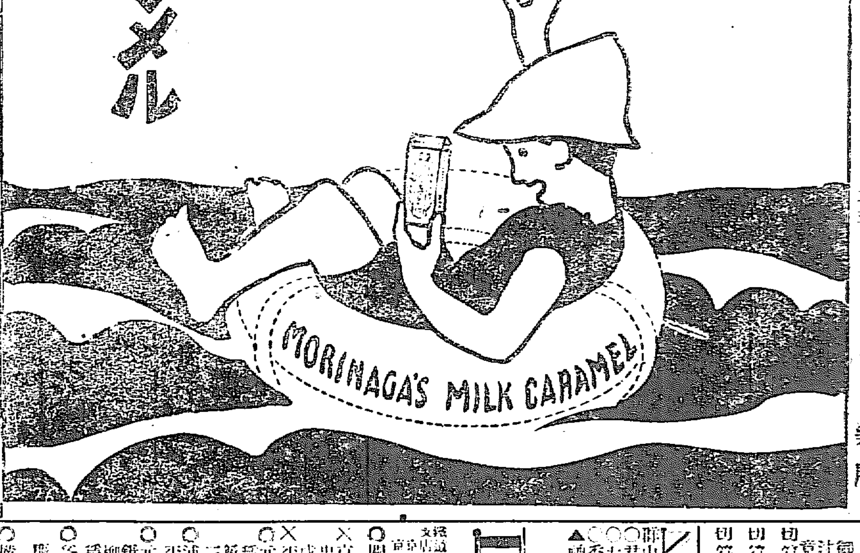
南京虫、蚤、油虫等退治 全滅する事請合

定價 吹出散布器入 金二十錢 並罐入 金十錢、金五錢

到ル處ニ販賣店アリ

是れ！ 是れ！ 僕の海上生活に一段の趣味を與へる菓子は……

森永ミルクキャラメル



ヨクキク ホシ下痢止

▲急性下痢 ▲胃腸カタル ▲吐瀉、腹痛

定價 10. 20.

星製藥株式會社

特約店 キムラ藥房

宮内省御用酒

天下逸品の灘醸 菊正宗 販賣店到る處にあり

合名會社 本嘉納商店 釜山倉庫部 電話三一一番 振替京城二一七三番

大阪商船仁川出帆

●神戸、大阪行
△南部丸 八月十六日
×濟州丸 八月十二日
×濟州丸 八月廿四日 後二時出帆
●関門、神戸、大阪行
×信濃川丸 八月 日後二時出帆
●木浦、釜山、旅順、大連、上海行
×安東丸 八月十八日
×安東丸 九月五日 後二時出帆
(横濱行
二×福州丸
山頭丸 八月十三日後二時出帆
●南浦行
△南部丸
×濟州丸 八月十三日 八月九日 後二時出帆
●鎮南浦、大連行
×安東丸 八月十三日
×安東丸 八月卅日 後二時出帆
●南浦、神戸、大阪行
△安東丸 月 日後二時出帆
●西湖津、新浦、城津、清津行(元山出帆)
宮島丸 八月十五日後十二時出帆
●清津行(元山出帆)
安平丸 八月九日後十二時出帆
●上海、靑島、打狗行(大連出帆)
湖北丸 八月廿五日前五時出帆
基隆丸 八月十二日後四時出帆

御注意 …

切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二〇番、五五八番
切符發賣所 内鮮運輸會社京城支店 電話七〇八番
切符發賣所 仁川京城通り 朝鮮旅館

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
○君が代丸 八月十一日後四時出帆
○大吉丸 八月十七日後四時出帆
○秀吉丸 月 日後四時出帆
▲神代丸 月 日後四時出帆
仁川本町一丁目 電話五十九番 南杉回漕部

朝鮮郵船出帆
本社 電話長一九五二番
京城南大門驛前 松原運送店 電話長一、一七〇番
○關門より釜山各地經由雄基行
京議丸 八月十四日
忠清丸 八月十九日
咸鏡丸 八月九日
平壤丸 八月廿四日 釜山發
○元山より各地經由雄基行
穩城丸 八月六日
鏡城丸 八月十日
三浦丸 八月十三日 元山發
○浦潮行(元山より城津清津經由)
平安丸 八月十二日 元山發
○元山長箭間
鏡城丸 八月十八日
柳川丸 八月十九日
穩城丸 八月十四日 元山發
○釜山元山間
慶寶丸 八月 日 八月十五日 釜山發 元山發
○鬱陵島行浦項及各地經由
昌龍丸 八月八日 釜山發
○浦項行
江陵丸
襄陽丸 毎日 釜山發
○濟州島行長承浦麗水巨文島經由
昌平丸 八月十二日 釜山發
○麗水行(各地經由)
海州丸
統營丸 巨濟丸 毎日 釜山發
○木浦麗水間(麗水にて釜山行接續)
順天丸
南陽丸 三日目毎に木浦發
○木浦より濟州島行各島經由
西廻「公州丸」八月九日
東廻「慶興丸」八月七日 木浦發
○多島海各島行
慶興丸 八月十二日 木浦發
○木浦行(群山其他各地經由)
晉州丸 八月七日
麗水丸 八月十一日 仁川發
○鎭南浦行(海州其他各地經由)
宗信丸 八月十日 仁川發
○海州行(江華島喬桐島經由)
全州丸
錦江丸 毎日 仁川發
但し二十一日は休航